2010年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report,2010

目　次

沿　革 …… 2
美術館の事業紹介 …… 3
2010(平成 22)年度事業一覧 …… 5
展示事業
　企画展
　太田大八とえほんの仲間たち展 …… 7
　洋画のキラキラ　福島県立美術館展名品展 …… 9
　岩合光昭写真展「ねこ」 …… 12
　こころ揺さぶるモノづくり 秋田公立美術工芸短期大学の美術・工芸・デザイン …… 14
　高橋萬年展 －絵の仕事－ …… 18
　雪と遊ぶ ～冬を楽しむ美術展 …… 21
　コレクション展 …… 23
教育普及事業
　美術館教室・ワークショップ …… 29
　ミュージアム・コンサート …… 34
　美術館講座・美術講演会 …… 35
　ボランティア活動 …… 39
　博物館実習 …… 40
　ハイビジョンソフト制作 …… 41
　出前美術館 …… 42
　レオナール・フジタがやってきた展 …… 42
　ネットワーク推進事業 …… 45
　第46回横手地区高校美術展・冬期展 …… 45
　セカンドスクール的利用 …… 46
収集事業
　美術品収集 …… 48
　図書資料 …… 49
調査・研究業績 …… 50
美術品貸し出し …… 52
刊行物 …… 53
入館状況 …… 54
組　織 …… 55
建築・設備概要 …… 56
関係法規 …… 57
館内図 …… 59
利用・交通案内 …… 61

沿　革

1988（昭和 63）年	11 月		秋田ふるさと村（仮称）建設基本構想策定
1989（平成 1）年	5 月		秋田郷土美術館（仮称）建設基本構想策定
	12 月		秋田ふるさと村（仮称）建設基本計画策定
1990（平成 2）年			文化課に新美術館建設準備担当設置
	6 月		用地取得・造成工事着手
1991（平成 3）年	6 月		美術館建設工事着手
1993（平成 5）年	6 月		美術館建設工事完成
1994（平成 6）年	4 月	20 日	開館
1997（平成 9）年	10 月	2 日	天皇・皇后両陛下行幸啓
1999（平成 11）年	4 月		秋田ふるさと村入村料無料化
2001（平成 13）年	1 月		展示室以外の館内無料化
	9 月	26 日	入館者数 1,000,000 人を達成
2007（平成 19）年	10 月		入館者数 1,500,000 人を達成
2009（平成 21）年	4 月		特別展観覧料学生以下無料

美術館の事業

◆展　　示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年４～６回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

Special Exhibition

Under a unique theme,displays of native and foreign artwork are displayed in cooperaion with other museums and organizations.

◆ 収　　集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料

②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料

③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料

④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and presentdaythought in fine art,our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan , and the materials associated with these works.

② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture,and related materials.

③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art,and the materials associated with these works.

④ Other native and foreign works which are of great substance, and the mateials associated with them.

◆保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆調査研究

本館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

①収蔵品に関する調査研究

②秋田県の近・現代美術に関する調査

③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究

④その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

① Permanent collection

② Modern and fine art from Akita Prefecture

③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education

④ Other research

◆広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアＡＭＣ（アムック）との連携により、より積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group（AMC）, we hold various lectures, seminars and workshops.

2010(平成22)年度事業一覧

月／事業	企　画　展	コレクション展	講演会・コンサート・移動展ほか
2010 4	2 月 20 日(土)-4 月 18 日(日) Touch it ！　手でみる彫刻展	1 月 22 日(金)-4 月 4 日(日) ピックアップアーティスト 「松井 如流」	
5	4 月 24 日(土)-6 月 20 日(日) 太田大八とえほんの仲間たち展	4 月 7 日(水)-7 月 11 日(日) 美術館の眼 V 新収蔵品をご紹介	6/5（土）・7（日） 講演会「WAVE in よこて」 講師：太田大八とえほんの仲間たち展出品作家 6/19（土） 美術館に響くマンドリンの音色 出演：横手マンドリンクラブ
6			
7	6 月 26 日(土)-8 月 1 日(日) 洋画のキラキラ 福島県立美術館名品展		6/26（土） 「福島県立美術館名品展」ギャラリートーク 講師：堀宣雄氏・増渕鏡子氏(福島県立美術館学芸員)
8	8 月 7 日(土)-10 月 11 日(月) 岩合光昭写真展「ねこ」	7 月 14 日(水)-10 月 17 日(日) ピックアップアーティスト 「馬場 彬」	8/7（土）・8（日） 岩合光昭写真展「ねこ」アーティストトーク 講師：岩合光昭氏（写真家）
9			8/21（日） ミュージアムコンサート 出演：La-mia（秋田大学南米民族音楽サークル）
10	10 月 16 日(土)-11 月 14 日(日) こころ揺さぶるモノづくり 秋田美術工芸短期大学の美術・ 工芸・デザイン	10 月 23 日(土)-10 月 31 日(日) レオナール・フジタがやってきた	9/23（金） バイオリン・ピアノ ミュージアムコンサート 出演：橋本紀夫氏、田口眞理子氏・伊藤朋子氏 10/5（火）～ 10（日） 出前美術館：八峰町立塙川小学校 10/11（月） 前田英樹ピアノコンサート 出演：前田英樹氏（音楽家） 10/17（日） 講演会「モノづくりの世界」 講師：松本研一氏他 10/24（日） 「こころ揺さぶるモノづくり」ギャラリートークⅠ 10/30（月） 講演会「秋田 200 年の美術と秋田美短」 講師：河野元昭館長・樋田豊治郎学長 「こころ揺さぶるモノづくり」ギャラリートークⅡ 11/6（土）～ 14（日） レオナール・フジタがやってきた：能代市文化会館 11/ 7 （日） 「こころ揺さぶるモノづくり」ギャラリートークⅢ 11/14（日） 講演会「地域とデザイン」 講師：渡邊有一氏他
11		11 月 3 日(水)-1 月 10 日(月) ピックアップアーティスト 「山脇 佐久子」	
12	11 月 20 日(土)-1 月 30 日(日) 高橋萬年展 －絵の仕事－		
	12/29(水)～ 31(金) 年末休館		
2011 1	同上	同上	
	1/11（火）～ 20（木）メンテナンス休館		
2	同上	1 月 21 日(金)-4 月 10 日(日) ピックアップアーティスト 「伊藤 彌四夫」	
3	2 月 5 日(土)-4 月 17 日(日) 雪と遊ぶ～ 冬を楽しむ美術展		

美　術　館　講　座	美術館教室・ギャラリートーク	
『鎌倉時代の美術』 講師：河野元昭 （秋田県立近代美術館長、東京大学名誉教授）		2010 **4**
	5/1（土）、5/2（日） 親子でワークショップ「カラー粘土でつくろう！」	**5**
5/16（日） 1．東大寺復興と運慶・快慶「南大門仁王像」		
6/13（日） 2．運慶「無著・世親像」と快慶「僧形八幡神像」		**6**
	7/4（日）、7/11（日）、7/25（日） 一般美術教室Ⅰ　油彩画 講師：澁谷重弘氏（秋田公立美術工芸短期大学教授）	
7/11（日） 3．阿弥陀二十五菩薩来迎図（早来迎） と山越阿弥陀図	7/25（日） デッサン教室Ⅲ	**7**
	8/1（日） 夏休み親子美術教室「木で作るおもちゃのどうぶつ」	**8**
	8/8（日） 岩合光昭写真展ワークショップ 講師：岩合光昭氏（写真家）	
9/12（日） 4．那智瀧図と宮曼荼羅	9/4（土）、9/5（日） 一般美術教室Ⅱ　日本画	**9**
10/16（日） 5．佐竹本三十六歌仙絵巻と随身庭騎絵巻	10/16（土）、11/14（日） 一般美術教室Ⅲ　彫刻 講師：皆川嘉博氏（秋田公立美術工芸短期大学准教授）	**10**
11/7（日） 6．源頼朝像と明恵上人像	11/7（日） こころ揺さぶるモノづくり展「杉モノデザインワークショップ」 講師：菅原香織氏（秋田公立美術工芸短期大学助教）	**11**
	12/5（日） 親子美術教室「X'mas オーナメントをつくろう」	**12**
1/9（日） 7．平治物語絵巻と蒙古襲来絵巻		2011 **1**
2/6（日） 8．北野天神縁起絵巻と一遍上人伝絵巻	2/6（日） 雪と遊ぶ展ギャラリーツアー「かんじきウォークで彫刻鑑賞」 2/13（日） 雪と遊ぶ展ワークショップ「親子で雪のどうぶつをつくる」	**2**
		3

ｉ　太田大八とえほんの仲間たち展

会期：2010(平成22)年4月24日(土)～6月20日(日)
主催：秋田県立近代美術館
共催：こどもの本ＷＡＶＥ
後援：秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、
　　読売新聞秋田支局、河北新報社、ＮＨＫ秋田放送局、
　　ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
　　エフエム秋田
協力：秋田県立図書館
企画協力：メディアリンクス・ジャパン
担当：樫尾康子

現在91歳の絵本作家太田大八と、氏と親交が深く第一線で活躍している絵本作家15名の絵本原画展。太田大八は、1949年のデビュー以来130作以上の絵本と230冊以上の児童書などの挿絵を手がけてきた。また、絵本表現のレベル向上や絵本を描く画家たちの社会的地位の向上、国際交流への尽力など日本の絵本界のリーダーとして活躍してきた。本展では、太田の60年以上に及ぶ創作活動で発表された絵本作品原画や絵画作品とその仲間たちの絵本原画をあわせて186点を展示した。

第１展示室

No.	作者名	原書名／作品名	出版社名	発行年	展示数
1	太田　大八	やまなしもぎ	福音館書店	1977	10
2	太田　大八	絵本玉虫厨子の物語	童心社	1980	10
3	太田　大八	絵本西遊記	童心社	1997	9
4	太田　大八	やまいっぱいのきんか	童話館出版	1969	5

第２展示室

No.	作者名	原書名／作品名	出版社名	発行年	展示数
5	田島　征彦	どろんこそうべえ	童心社	2007	5
6	田島　征彦	しちどぎつね	くもん出版	2008	5
7	佐々木マキ	ムッシュムニエルをしょうかいします	絵本館	1978	5
8	佐々木マキ	ねむいねむいねずみ	ＰＨＰ研究所	1979	5
9	西巻　茅子	わたしのワンピース	こぐま社	1969	5
10	西巻　茅子	ちいさなきいろいかさ	金の星社	1971	5
11	いわむらかずお	かんがえるカエルくん	福音館書店	1991	4
12	いわむらかずお	栗栖ちくりん	理論社	2000	2
13	いわむらかずお	根津あかね	理論社	2005	2
14	いわむらかずお	今野もんじろう	理論社	2006	2
15	田島　征三	はたけのカーニバル	童心社	2002	5
16	田島　征三	ザ・ボーン	アリス館	2008	5
17	和歌山静子	おしゃべりなたまごやき	理論社	1998	1
18	和歌山静子	めだまやきの化石	理論社	1998	1
19	和歌山静子	ひみつのフライパン	理論社	1998	1
20	和歌山静子	たんけんたいと消防たい	理論社	1998	1
21	和歌山静子	王さまなぞのピストル	理論社	1990	1
22	和歌山静子	ひまわり	福音館書店	2006	5

第３展示室

No.	作者名	原書名／作品名	出版社名	発行年	展示数
23	スズキコージ	ガブリシ	ブッキング	2008	10
24	林　明子	アンデルセン生誕200年記念ポスター	メディアリンクス・ジャパン	2004	1
25	五味　太郎	ぐうぐうぐう	文化出版局	1982	2
26	五味　太郎	とまとさんにきをつけて	偕成社	2000	2
27	五味　太郎	たべたのだあれ	文化出版局	1977	3
28	五味　太郎	かくしたのだあれ	文化出版局	1977	3
29	五味　太郎	アンデルセン生誕200年記念ポスター	メディア	1998	1
30	浜田　桂子	あやちゃんのうまれたひ	福音館書店	1984	5
31	浜田　桂子	さっちゃんとなっちゃん	教育画劇	2002	5
32	山脇百合子	えはがきえほん	のら書店	1997	3
33	山脇百合子	やまわきゆりこのディブック	のら書店	1997	6
34	山脇百合子	アンデルセン生誕200年記念ポスター	メディアリンクス・ジャパン	2000	1
35	山脇百合子	児童福祉週間ポスター原画	全国社会福祉協議会	2008	1
36	黒井　健	マッチ売りの女の子	小学館	2004	4
37	黒井　健	おやゆびひめ	講談社	1989	3
38	長　新太	はるですよ、ふくろうおばさん	講談社	1977	1
39	長　新太	キャベツくん	文研出版	1980	1
40	長　新太	ムニャムニャゆきのバス	偕成社	1991	1
41	堀内　誠一	たいようの木のえだ（習作）	福音館書店	1985	1
42	堀内　誠一	おにまるのヘリコプター	文化出版局	1987	2

(2008年にブッキングより)

第４展示室

No.	作者名	原書名／作品名	出版社名	発行年	展示数
43	あべ　弘士	どうぶつえん物語	絵本館	1994	5
44	あべ　弘士	みんなのせて	講談社	2007	5
45	太田　大八	かさ	文研出版	1975	8
46	太田　大八	ブータン	こぐま社	1995	8
47	太田　大八	詩人の墓	集英社	2006	6
48	太田　大八	アンデルセン生誕200年記念ポスター	メディアリンクス・ジャパン	2000	1
49	太田　大八	すずの兵隊		2000	1
50	太田　大八	童話の王様アンデルセン		2000	1
51	太田　大八	羊飼いの娘と煙突掃除人		1955	1

◇関連記事

秋田魁新報	4/22,4/29,5/5,5/19
河北新報	4/22
読売新聞	4/20
rakra	5・6月号
あきたタウン情報	4月号，5月号，6月号
月刊アンドナウ	4月号，6月号
ティカップ！	5月号，6月号

ⅱ.洋画のキラキラ　福島県立美術館名品展

会期：2010(平成22)年6月26日(土)～平成22年8月1日(日)
主催：秋田県立近代美術館、福島県立美術館
後援：秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、
　　読売新聞秋田支局、河北新報社、NHK秋田放送局、
　　ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
　　エフエム秋田
担当：山本丈志

長年交流のある福島県立美術館と、互いの特徴あるコレクションを交換して行った展覧会である。当館の秋田蘭画、平福百穂、福田豊四郎らをはじめとする日本画を「秋田県立近代美術館名品展 美のふるさと」と題して、4月17日から5月16日まで福島県立美術館で公開した。福島県立美術館からはモネ、ワイエス、ベン・シャーン、岸田劉生、安井曾太郎といった近現代の洋画を、「洋画のキラキラ 福島県立美術館名品展」として紹介した。待望のファインアートによる展覧会であり、好評だった。

第1展示室　名画がKIRAKIRA

No.	作家名	題　　名	制作年	技法・素材など	寸　法（cm）	備考
1	アンドリュー・ワイエス	松ぼっくり男爵	1976年	ボード・テンペラ	80.0×84.5	
2	アンドリュー・ワイエス	そよ風	1978年	紙・水彩	54.6×52.0	
3	アンドリュー・ワイエス	冬の水車小屋	1978年	紙・水彩	58.4×72.4	
4	ベン・シャーン	W.P.A.　サンデー	1939年	紙・グァッシュ	58.0×79.3	
5	ベン・シャーン	農民にたずねよ	1941年	ボード・グァッシュ	70.0×55.7	
6	ベン・シャーン	スイミングプール	1945年	ボード・テンペラ	55.9×76.2	
7	ベン・シャーン	恐怖の夜の町	1951年	ボード・グァッシュ、テンペラ	121.0×142.4	
8	ベン・シャーン	警告!…インフレーションは不況を意味する	1946年	紙・オフセット	104.5×70.5	
9	ベン・シャーン	反動の魔手を打ち砕け	1946年	紙・オフセット	102.5×73.0	
10	ベン・シャーン	我々は平和を望んでいる	1946年	紙・リトグラフ	105.5×68.2	
11	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには･･･「扉1」	1968年	紙・リトグラフ	57.3×45.0	24点組の1
12	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…「小さな草花のたたずまい」	1968年	紙・リトグラフ	57.3×45.0	24点組の8
13	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…「少年の日の想い出を」	1968年	紙・リトグラフ	57.3×45.1	24点組の12
14	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…「海そのものの姿」	1968年	紙・リトグラフ	57.3×45.3	24点組の17
15	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…「死者の傍らで」	1968年	紙・リトグラフ	57.5×45.8	24点組の23
16	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…「一篇の詩の最初の言葉」	1968年	紙・リトグラフ	57.3×45.0	24点組の24
17	クロード・モネ	ジヴェルニーの草原	1890年	キャンバス・油彩	65.1×92.4	
18	カミーユ・ピサロ	エラニーの菜園	1899年	キャンバス・油彩	72.9×92.0	
19	ポール・ゴーギャン	ブルターニュの子供	1889年	紙・水彩、パステル	26.3×38.2	
20	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(1)	1945-46年	紙・リトグラフ	26.1×33.6	18点組
21	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(2)	1945-46年	紙・リトグラフ	25.8×33.6	18点組
22	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(3)	1945-46年	紙・リトグラフ	26.0×34.3	18点組

23	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(6)	1945-46年	紙・リトグラフ	25.9×34.7	18点組
24	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(10)	1945-46年	紙・リトグラフ	27.1×36.2	18点組
25	パブロ・ピカソ	二人の裸婦(17)	1945-46年	紙・リトグラフ	27.3×37.3	18点組

第2展示室　黎明のKIRAKIRA

No.	作家名	題　　名	制作年	技法・素材など	寸法（cm）
26	高橋　由一	栗子山昔時景	1881(明治14)年頃	キャンバス・油彩	36.1×60.9
27	吉田　　博	小出雲村月出	1903(明治36)年頃	紙・水彩	33.0×50.2
28	三宅　克己	湯ヶ野の冬	1908(明治41)年	紙・水彩	49.8×32.9
29	丸山　晩霞	渓流(飛騨蒲田の激湍)	1912(大正元)年	紙・水彩	63.4×93.4
30	赤城　泰舒	土塀	1920(大正9)年	紙・水彩	32.8×48.1
31	安井曾太郎	テーブルの上	1912(大正元)年	キャンバス・油彩	46.2×55.1
32	石井　柏亭	水車場	1927(昭和2)年	キャンバス・油彩	60.9×73.1
33	斎藤　与里	裏磐梯	1953(昭和28)年	キャンバス・油彩	65.5×80.5
34	上野山清貢	ムッシュ0の肖像	1915(大正4)年	キャンバス・油彩	65.2×53.2
35	恩地孝四郎	自画像D(白和服)	1919(大正8)年	キャンバス・油彩	45.5×33.3
36	清水　登之	十四番街の地下鉄駅	1918(大正7)年	キャンバス・油彩	50.0×61.0
37	国吉　康雄	婦人と子供	1920(大正9)年	キャンバス・油彩	101.1×61.2
38	野田　英夫	牛乳ワゴン	1936(昭和11)年	キャンバス・油彩	51.5×61.1
39	関根　正二	牛舎	1915(大正4)年頃	キャンバス・油彩	36.5×48.6
40	関根　正二	風景	1916(大正5)年	板・油彩	33.2×23.0
41	関根　正二	一本杉の風景	1918(大正7)年	キャンバス・油彩	33.3×45.2
42	関根　正二	神の祈り	1918(大正7)年頃	キャンバス・油彩	68.1×40.8
43	関根　正二	姉弟	1918(大正7)年	キャンバス・油彩	80.5×60.5
44	関根　正二	菊川橋	1916(大正5)年	紙・インク	29.3×25.5
45	関根　正二	自画像	1916(大正5)年頃	紙・インク	37.7×57.7
46	関根　正二	裏の娘	1917(大正6)年	紙・水彩、パステル、鉛筆	29.4×21.7
47	関根　正二	裸婦・大樹	1915(大正4)年	紙・木炭	57.8×44.1
48	村山　槐多	庭園の少女	1914(大正3)年	紙・水彩	61.0×46.4
49	村山　槐多	樹木(けやき)	1917(大正6)年頃	紙・木炭	62.6×46.8

第3展示室　異才のKIRAKIRA

No.	作家名	題　　名	制作年	技法・素材など	寸法（cm）
50	萬　鉄五郎	庫	1918(大正7)	キャンバス・油彩	45.9×33.4
51	前田　寛治	裸婦	1925(大正14)年	キャンバス・油彩	45.5×33.3
52	木村　荘八	樹の下で遊んでいる子供	1915(大正4)	キャンバス・油彩	60.8×80.6
53	岸田　劉生	自画像	1914(大正3)年	キャンバス・油彩	45.7×38.3
54	岸田　劉生	静物(白き花瓶と台皿と林檎四個)	1918(大正7)年	キャンバス・油彩	44.5×53.0
55	小出　楢重	けしの花	1926(大正15)年	紙・グァッシュ	38.1×30.9
56	長谷川利行	浅草の女	1935(昭和10)年	キャンバス・油彩	45.5×37.9
57	松本　竣介	赤い建物	1936(昭和11)年	紙・油彩	27.5×35.0
58	松本　竣介	駅	1942(昭和17)年	板・油彩	38.0×45.6
59	麻生　三郎	家族	1959(昭和34)年	キャンバス・油彩	117.0×91.3
60	川口　軌外	柘榴	1932(昭和7)年	キャンバス・油彩	38.0×72.8
61	瑛　　九	建物	1948(昭和23)年	キャンバス・油彩	102.8×102.8
62	寺田　政明	谷中風景	1929(昭和4)年	ボール紙・油彩	60.8×73.1
63	野地　正記	みどり・天使	1963-65(昭和38-40)	紙・水彩、インク	54.5×38.6
64	野地　正記	無題(かお)	1965-67(昭和40-42)	紙・水彩	54.0×37.9
65	渡部　菊二	勤労の娘たち	1940(昭和15)年	紙・水彩	115.8×90.6
66	山川　忠義	叺上の柿	1949(昭和24)年	キャンバス・油彩	72.6×90.9
67	吉井　　忠	麦の穂を持つ女	1941(昭和16)年	キャンバス・油彩	116.5×91.7

68	吉井　　忠	雪の安達太良山	1960(昭和35)年	キャンバス・油彩	72.7×90.4
69	菅井　　汲	YARI	1958(昭和33)年	キャンバス・油彩	100.0×80.8
70	脇田　　和	窓	1966(昭和41)年	キャンバス・油彩	144.3×111.6

第4展示室　版画もKIRAKIRA

No.	作家名	題　　名	制作年	技法・素材など	寸法（cm）
71	恩地孝四郎	母と子	1917(大正6)年	紙・木版	29.0×24.3
72	恩地孝四郎	「氷島」の著者　萩原朔太郎像	1943(昭和18)年	紙・木版	63.4×42.2
73	恩地孝四郎	ポエムNo.2　山の属	1937(昭和12)年	紙・木版	38.7×37.9
74	長谷川　潔	メキシコの鳩	1966(昭和41)年	紙・メゾチント	26.7×36.2
75	長谷川　潔	狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ寓話)	1963(昭和38)年	紙・メゾチント	35.5×26.6
76	長谷川　潔	セードルの実のある静物画	1960(昭和35)年	紙・メゾチント	26.4×36.2
77	駒井　哲郎	思い出	1948(昭和23)年	紙・ソフトグランドエッチング、ドライポイント	22.5×19.3
78	駒井　哲郎	束の間の幻影	1950(昭和25)年	紙・アクアチント	18.0×29.0
79	駒井　哲郎	鳥と果実	1959(昭和34)年	紙・アクアチント、エッチング	15.1×17.4
80	斎藤　　清	凝視(花)	1950(昭和25)年	紙・木版	60.0×41.1
81	斎藤　　清	六月	1975(昭和50)年	紙・木版	75.5×44.4
82	斎藤　　清	会津の冬(5)	1970(昭和45)年	紙・木版	38.1×53.0
83	斎藤　　清	会津の冬(16)	1970(昭和45)年	紙・木版	38.1×52.6
84	斎藤　　清	会津、福島	1971(昭和46)年	紙・木版	37.8×52.8
85	斎藤　　清	会津の家(G)	1973(昭和48)年	紙・木版	45.5×74.5
86	斎藤　　清	会津の冬(51)	1982(昭和57)年	紙・木版	38.0×51.9
87	斎藤　　清	会津の冬(72)坂下七折峠	1987(昭和62)年	紙・木版	38.0×52.9
88	斎藤　　清	会津の冬(63)麻生	1986(昭和61)年	紙・木版	38.0×53.0
89	浜田　知明	初年兵哀歌(歩哨)	1954(昭和29)年	紙・エッチング、メゾチント	23.2×15.7
90	浜田　知明	風景	1953(昭和28)年	紙・エッチング	36.3×29.8
91	浜田　知明	副校長D氏像	1956(昭和31)年	紙・エッチング	20.7×13.8
92	清宮　質文	火屋の中	1966(昭和41)年	紙・木版	20.8×17.8
93	清宮　質文	虜囚の窓	1972(昭和47)年	紙・木版	24.7×20.0
94	清宮　質文	深夜の蝋燭	1974(昭和49)年	紙・木版	17.8×15.2
95	浜口　陽三	西瓜	1954(昭和29)年	紙・メゾチント	29.9×39.7
96	浜口　陽三	白菜	1960(昭和35)年	紙・メゾチント	29.5×44.1
97	浜口　陽三	14のさくらんぼ	1963(昭和38)年	紙・メゾチント	52.3×24.3
98	山口　　源	能役者	1958(昭和33)年	紙・木版	83.5×45.0
99	日和崎尊夫	KALPA X	1969(昭和44)年	紙・木口木版	24.4×22.2
100	日和崎尊夫	KALPA 夜	1972(昭和47)年	紙・木口木版	33.0×27.5

◇関連記事

秋田魁新報	6/17, 6/25, 7/1
読売新聞	6/22
朝日新聞	6/23
rakra	7・8月号
あきたタウン情報	7月号
月刊アンドナウ	7月号, 8月号
市報・よこて	7月1日号
ティカップ！	7月号

ⅲ　岩合光昭写真展「ねこ」

会期：2010(平成22)年8月7日(土)～10月11日(月)
主催：秋田県立近代美術館
協賛：オリンパスイメージング株式会社
後援：秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、
　　読売新聞秋田支局、河北新報社、ＮＨＫ秋田放送局、
　　ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
　　エフエム秋田
企画制作：クレヴィス
担当：木村雅洋

1950年東京に生まれた岩合光昭は、19歳の時訪れたガラパゴス諸島の自然の驚異に圧倒され、動物写真家としての道を歩み始める。以来、地球上のあらゆる地域をフィールドに撮影を続け、その美しく想像力をかきたてる写真は、「ナショナルジオグラフィック」誌の表紙も飾っており、全世界で高く評価されている。

本展は岩合光昭のライフワークの一つでもある「ネコの写真」に焦点を当てて構成。幅広い年齢層から絶大な人気を集めている、愛くるしくもたくましい猫たちの写真244点を紹介した。

第１展示室

NO.	コーナー名	サイズ等(cm)	仕様
chapter.1「生きることは動くこと -In My Life-」			
1～11	1.「こんにちは」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼
12～16	2.「一緒に」	480×720～600×900	白アルポリックパネル貼
17～24	3.「メークアップ」	360×540～600×900	白アルポリックパネル貼
25～28	4.「育てる」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼
29～33	5.「遊ぶ」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼、ボックス
34～37	6.「マーキング」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼
38～40	7.「運動する」	600×900～1000×1500	白アルポリックパネル貼
41～47	8.「ジャンプ」	480×720～1200×1800	タペストリー、白アルポリックパネル貼
48～57	9.「確かめる」	480×720～600×900	白アルポリックパネル貼

第２展示室

NO.	コーナー名	サイズ等(cm)	仕様
58～64	10.「集中する」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼
65～74	11.「のびる」	480×720～600×900	白アルポリックパネル貼
75～80	12.「店番をする」	480×720	白アルポリックパネル貼・ボックス６面体
81～86	13.「ミャー」	360×540～600×900	白アルポリックパネル貼
87～97	14.「散歩する」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼、ボックス
98～104	15.「集う」	480×720～600×900	白アルポリックパネル貼
105～111	16.「考える」	480×720～1500×1000	白アルポリックパネル貼
112～119	17.「友だち」	480×720～600×900	白アルポリックパネル貼
120～128	18.「きめる」	1000×1500、1500×1000	フォトアクリルパネル貼

第３展示室

NO.	コーナー名	サイズ等(cm)	仕様
129～134	19.「眺める」	360×540～600×900	白アルポリックパネル貼
135～143	20.「眠い」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼、ボックス
144～150	21.「見上げる」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼、ボックス
151～157	22.「冬物語」	480×720～1000×1500	白アルポリックパネル貼
158	23.「お疲れ様」	480×640	白アルポリックパネル貼
chapter.2「暮らしの中で -With People-」			
159～188		600×780～845×1145	額装
chapter.3「海ちゃん -Kai Chan-」			
189～196		440×665～965×1445	アルポリックパネル貼・木枠固定

第４展示室

NO.	コーナー名	サイズ等(cm)	仕様
197～216		440×665～1445×965	アルポリックパネル貼・木枠固定
chapter.4「田代島のねこたち -The Island Cats-」			
217～244		360×540～1000×1500	白アルポリックパネル貼

◇関連記事

秋田魁新報	8/5, 8/6, 8/8(県南版), 8/12
rakra	9・10月号
あきたタウン情報	8月号, 9月号
月刊アンドナウ	9月号,10月号
盛岡タウン情報誌 月刊acute	9月号
白泉社 月刊MOE	10月号
クルール	10月号
D press	8月号
ティカップ！	9月号

ⅳ　こころ 揺さぶるモノづくり
秋田公立美術工芸短期大学の美術・工芸・デザイン

会期：2010(平成22)年10月16日(土)～11月14日(日)
主催：秋田県立近代美術館、秋田公立美術工芸短期大学
後援：秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、
読売新聞秋田支局、河北新報社、ＮＨＫ秋田放送局、
ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
エフエム秋田
担当：三浦　直、小笠原宏

秋田公立美術工芸短期大学は、平成７年４月に北東北の新たな美術・工芸・デザインの人材育成拠点として開学した。この展覧会は、同短大がこれまで実践してきた教育の理念と公立大学の使命である地域とのかかわりについて、教員の研究活動の一つであるモノづくりをとおして紹介しようとするものであり、教員の作品を学外でまとめて展示するのは初めての試みである。「工芸」「コンテンポラリー・アート」「デザイン」「絵画・彫刻」の４部門に分けて25人の作家の作品104点を紹介した。

カテゴリー１：工芸 ガラス、木工、漆、染色、鋳金、彫金、陶芸

NO.	作家名	作品名	制作年	素材・手法など
1- 1	小牟禮尊人	蜃気楼　－mirage－	2010	ガラス　キルンキャスト、カット
1- 2	小牟禮尊人	ゆらめき	2008	ガラス　キルンキャスト、カット
1- 3	小牟禮尊人	tension	2010	ガラス　ホットワーク、接着
1- 4	小牟禮尊人	みずたまり	2009	ガラス　キルンキャスティング、カット
1- 5	小牟禮尊人	みずたまり	2009	ガラス　キルンキャスティング、カット
1- 6	山岡　　惇	Being Lady Stool 07	2007,2010	ブラックウォルナット、タモ
1- 7	山岡　　惇	Wood・Color・Box	2009	タモ、チーク、ブラックウォルナット、アフリカンパドーク、パープルハート、コクタン、セン
1- 8	山岡　　惇	シマリスの冬支度	2009	ブラックウォルナット、セン、ホウ、チーク
1- 9	山岡　　惇	格子の箱	2010	チーク、ブラックウォルナット、アフリカンパドーク、ローズウッド、タモ、セン
1-10	森　　香織	はたちのころ　－runrun－	2010	絹
1-11	森　　香織	はたちのころ　－monmon－	2010	絹
1-12	松本　研一	感情列席	2010	神代ニレ、ソノケリン、シナベニヤ、墨
1-13	平野庫太郎	練上手かたばみ文組皿	1994	陶　練上
1-14	平野庫太郎	辰砂釉壷	2010	陶　銅赤釉薬
1-15	平野庫太郎	鈞窯釉酒器	2010	陶　銅紫紅釉薬
1-16	平野庫太郎	油滴釉一輪挿	2010	陶　鉄結晶釉薬
1-17	平野庫太郎	釉裏紅唐草文鉢(秋田県立博物館 蔵)	1993	陶　銅絵具
1-18	島屋　純晴	器源	2007	白銅
1-19	島屋　純晴	器源	2009	ブロンズ　錫　漆
1-20	熊谷　　晃	変塗螺鈿箱　香椿	2010	変塗り、蒔絵、螺鈿
1-21	熊谷　　晃	変塗螺鈿箱　香椿	2009	変塗り、蒔絵、螺鈿
1-22	熊谷　　晃	香椿之圖	2010	変塗り、蒔絵、螺鈿

1-23	安藤　康裕	さざなみ	2010	純銀
1-24	安藤　康裕	２つの球根Ⅱ	2010	真鍮
1-25	安藤　康裕	翼のある耳杯	2010	silver970
1-26	安藤　康裕	ビールジョッキ	2000	silver970、ローズウッド、真鍮
1-27	安藤　康裕	ビールジョッキ	2002	silver970、真鍮、カリン
1-28	安藤　康裕	ビールジョッキ	2004	silver970、ガラス、アフリカンパドーク
1-29	安藤　康裕	海風Ⅰ	1998	銅
1-30	安藤　康裕	海風Ⅱ	1999	silver970
1-31	安藤　康裕	シダの飾り皿	2006	silver970、 ローズウッド
1-32	安藤　康裕	あきたこまちブローチ	2006	あきたこまち精米、籾、silver970 アクリル
1-33	安藤　康裕	ハーベスト	2008	あきたこまち精米、コーン、silver970、 アクリル、金箔
1-34	安藤　康裕	花房のかざり	2010	silver970、K18、K20

カテゴリー２：コンテンポラリー・アート イラストレーション、インスタレーション、デジタルアート

NO.	作家名	作品名	制作年	素材・手法など
2- 1	裵　　鎭	?ヒト×ヒト【1】	2010	デジタルプリント
2- 2	裵　　鎭	?ヒト×ヒト【2】	2010	デジタルプリント
2- 3	裵　　鎭	?ヒト×ヒト【3】	2010	デジタルプリント
2- 4	裵　　鎭	?ヒト×ヒト【4】	2010	デジタルプリント
2- 5	裵　　鎭	?ヒト×ヒト【5】	2010	デジタルプリント
2- 6	長沢　桂一	untitled	2010	コットン、ポリプロピレン
2- 7	芝山　昌也	OpenSculpture - Doxa -	2010	ミクストメディア　ダンボール、木材、 ゴムロープ（赤)、メラミン化粧合板、 ウレタン塗装
2- 8	芝山　昌也	OpenSculpture - Doxa -	2010	ミクストメディア　ダンボール、木材、 ゴムロープ（青)、メラミン化粧合板、 ウレタン塗装
2- 9	芝山　昌也	OpenSculpture - Doxa -	2010	ミクストメディア　ダンボール、木材、 ゴムロープ（黒)、メラミン化粧合板、 ウレタン塗装
2-10	阿部由布子	IN MEDIUM	2010	木、紙、セロファン、電灯 等
2-11	丸岡　慎一	Do you like rainy days?	2009	鉛筆・色鉛筆・水彩
2-12	丸岡　慎一	さかなのおうち	2009	鉛筆・色鉛筆・水彩
2-13	丸岡　慎一	あっちへ行ってみようよ。	2009	鉛筆・色鉛筆
2-14	丸岡　慎一	幸せな海のくらし	2009	色鉛筆
2-15	丸岡　慎一	それから恋人たちの長いささやきあいは、 つたわらないことばかりがあふれていて、 A propos, des murmures sans fin entre les amoureux, comme ils debordent des malcommunications…絵本原画『birds』	2008	鉛筆・色鉛筆・水彩
2-16	丸岡　慎一	そのうちどこかへむれをなして 飛んでいってしまいます。 … tot ou tard, ils s ‘envolent quelque part en groupe. 絵本原画『birds』	2008	アクリル
2-17	丸岡　慎一	そうやって飛んでいったことばのとり たちは、よくカップのそこで休みました。 Les oiseaux de parole qui volent comme	2008	色鉛筆

		cela se reposent souvent au fond des tasses. 絵本原画『birds』		
2-18	丸岡　慎一	ごごのカフェはたいへんなにぎわいで、たくさんのことばたちがとびかいます。Le café d’ apres midi est tres anime avec des paroles qui volettent autour des tables. 絵本原画『birds』	2008	鉛筆・色鉛筆・ペン・水彩
2-19	丸岡　慎一	うさぎの跳躍	2010	鉛筆・色鉛筆・マーカー・アクリル

カテゴリー３：デザイン グラフィック、プロダクト、建築、公共デザイン、デザイン計画、建築史・意匠、構成

NO.	作家名	作品名	制作年	素材・手法など
3- 1	官能　右泰	彌高神社献詠集ポスター「い」	2010	紙　デジタルプリント
3- 2	官能　右泰	彌高神社献詠集ポスター「ろ」	2010	紙　デジタルプリント
3- 3	官能　右泰	彌高神社献詠集ポスター「は」	2010	紙　デジタルプリント
3- 4	官能　右泰	彌高神社献詠集ポスター「に」	2010	紙　デジタルプリント
3- 5	官能　右泰	ラウンジポスターｇ＠ｄｏ－ｇ＠ｄｏ	2008	紙　セリグラフ
3- 6	官能　右泰	ラウンジポスターＧＡＤＯ－ＧＡＤＯ	2008	紙　セリグラフ
3- 7	坂本　憲信	JAPONiSM_2010-1	2010	デジタルプリント
3- 8	坂本　憲信	JAPONiSM_2010-2	2010	デジタルプリント
3- 9	石垣　　充	「トレンチハウス」または とれん家[とれんち]	2009	住宅計画
3-10	渡邉　有一	杢目銅によるペンダント型花器	2010	杢目銅　銅、黒味銅、銀
3-11	孔　　鎭烈	JAPANESE CULTURE-1	2010	デジタルプリント
3-12	孔　　鎭烈	JAPANESE CULTURE-2	2010	デジタルプリント
3-13	孔　　鎭烈	WAR & HEIWA 2010	2010	デジタルプリント
3-14	孔　　鎭烈	表現2010.1	2010	デジタルプリント
3-15	孔　　鎭烈	表現2010.2	2010	デジタルプリント
3-16	孔　　鎭烈	表現2010.3	2010	デジタルプリント
3-17	澤田　　享	国指定重要文化財　大館八幡神社本殿	2006	第２原図（上質紙）
3-18	金　　孝卿	gradition 101	2010	キャンパス・アクリル絵具
3-19	金　　孝卿	gradition 102	2010	キャンパス・アクリル絵具
3-20	金　　孝卿	gradition 103	2005	パネル・アクリル絵具
3-21	菅原　香織	食事介助用漆器 たなごころ 霞型 朱内黒	2002	椀・皿（７種類）　トチ　漆
3-22	菅原　香織	食事介助用漆器 たなごころ 柿型 柿内黒	2002	椀・皿（７種類）　トチ　漆
3-23	菅原　香織	八重霞　洗朱	2003	椀（８種類）　トチ　漆
3-24	菅原　香織	学校給食用漆器	2002	椀・皿（４種類）　トチ　MR漆
3-25	五十嵐　潤	稲庭うどんを楽しむ器	2004	椀・鉢他　栃　漆
3-26	五十嵐　潤	椀の仕立てシリーズ	2006	椀　栃　漆（沈金・蒔絵）
3-27	五十嵐　潤	曲げワッパ	2010	器　秋田杉高齢級材
3-28	五十嵐　潤	まんさくリキュール	2008	商品企画・ラベルデザイン
3-29	五十嵐　潤	太陽光発電式街路照明灯	2009	基本デザイン

カテゴリー４：絵画・彫刻 絵画、彫刻

NO.	作家名	作品名	制作年	素材・手法など
4- 1	渋谷　重弘	風土Ⅰ	2007	ミクストメディア
4- 2	渋谷　重弘	風土Ⅱ	2007	ミクストメディア
4- 3	渋谷　重弘	風土Ⅲ	2007	ミクストメディア
4- 4	渋谷　重弘	風土Ⅳ	2007	ミクストメディア
4- 5	渋谷　重弘	白い記憶	2008	ミクストメディア

4- 6	渋谷	重弘	祈りの構図	2007　ミクストメディア
4- 7	島屋	純晴	器源【意思の器】	2009　ブロンズ　錫　漆
4- 8	島屋	純晴	器源Ⅱ	2002　ブロンズ
4- 9	島屋	純晴	鋳花	2007　黄銅
4-10	島屋	純晴	鋳花	2007　黄銅　ステンレスSUS304 黒御影石
4-11	島屋	純晴	鋳ること　－・・森で・・－	2010　銅合金
4-12	鈴木	司	HOME 0907	2009　油彩
4-13	鈴木	司	HOME森0807	2008　油彩
4-14	鈴木	司	HOME森0806	2008　油彩
4-15	鈴木	司	クリスマスイブ0712	2007　油彩
4-16	鈴木	司	丘0604	2006　油彩
4-17	鈴木	司	丘0605	2006　油彩
4-18	皆川	嘉博	源流－風の民－（男性像）	2010　テラコッタ・籾殻焼
4-19	皆川	嘉博	源流－風の民－（女性像）	2010　テラコッタ・籾殻焼
4-20	皆川	嘉博	源流－地底の森－	2009　テラコッタ・籾殻焼
4-21	皆川	嘉博	源流－火の民－	2009　テラコッタ・籾殻焼
4-22	皆川	嘉博	源流－水の民－	2008　テラコッタ・籾殻焼

◇関連記事

秋田魁新報	10/17,10/21,10/28
rakra	11・12月号
あきたタウン情報	11月号
月刊アンドナウ	11月号
市報よこて	11月1日号
ティカップ！	11月号

ｖ　高橋萬年展～絵の仕事～

会期：2010(平成22)年11月20日(土)～2011(平成23)年１月30日(日)
※期間中休館日　2010(平成22)年12月29日～31日、
2011(平成23)年1月11日～20日
主催：秋田県立近代美術館
担当：樫尾康子

秋田市出身の日本画家高橋萬年の18歳から晩年に至るまでの当館所蔵作品・資料77点を展示した。77点のうち60点は、写生や模写など初公開の作品・資料である。

師寺崎廣業から日本画を学んだ萬年は、徹底した写生をもとに独自の表現を模索しながら制作を続けた。本画だけでなく多くの写生や大下図を見ると、納得できるまで対象に向かう萬年の制作の様子がよくわかる。今回の展示では初公開の10代の頃の模写作品と約60点あまりのスケッチを本画・大下図とあわせて展示した。戦後の秋田の日本画壇を支え院展に出品を続けた萬年が、晩年まで貫き通したひたむきな絵の仕事を紹介した。

第１展示室

作家名	題　名	制作年	技法・素材など	寸　法（cm）	備　考
寺崎　廣業	高山清秋	1914(大正3)年	絹本裏箔着色六曲一双	各168.2×364.2	第８回文展

高橋　萬年（№１～77）

No.	題　名	制作年	技法・素材など	寸　法（cm）	備　考
1	風景（仮題）	1920(大正9)年	紙・鉛筆	27.5×44.0	※第９回院展試作展「雨」
2	渡辺崋山筆一掃百態図模写	1915(大正4)年	紙本着色巻子	26.7×1010.0	
3	銀座尾張町	－	絹本着色	98.5×145.5	
4	牡丹	－	絹本着色軸装	137.0×51.0	
5	夏の午後	－	絹本着色軸装	119.0×35.5	
6	初秋	－	絹本着色軸装	126.0×34.0	
7	菊	－	絹本墨画淡彩軸装	128.5×42.0	
8	雪松図	－	紙本着色軸装	148.0×72.0	
9	四季彩	－	紙本着色	150.0×150.0	
10	資料（手紙、ハガキ）	1931(昭和6)年	紙・墨		書簡３部
11	愛國百人一首	1943(昭和18)年	紙・墨・水彩	3.2×4.0	196枚

第２展示室

No.	題　名	制作年	技法・素材など	寸　法（cm）	備　考
12	農夫	1940(昭和15)年	紙本着色六曲一隻	169.0×453.0	紀元二六〇〇年奉祝美術
13	馬屋（大下図）	－	紙本墨画軸装	167.2×167.7	展入選
14	馬屋	－	紙本着色二曲一隻	173.0×173.0	
15	田植（大下図）	1938(昭和13)年	紙本墨画着色四曲一隻	166.5×334.5	
16	野山柴（大下図）	1946(昭和21)年	紙本墨画淡彩軸装	各170.2×170.8	※第25回院展
17	収穫	－	紙本着色二曲一隻	167.6×211.6	※第31回院展
18	田	1951(昭和26)年	紙本着色二曲一双	各168.8×170.2	
19	秋の田園	－	絹本着色軸装	48.0×99.0	第36回院展入選
20	飯詰児	－	絹本着色軸装	139.5×50.9	
21	収穫（仮題）	－	絹本着色	37.4×117.6	

22	田植	1938(昭和13)年	紙・鉛筆・水彩	22.0×27.5
23	田植	1938(昭和13)年	紙・鉛筆・水彩	21.5×26.0
24	田植	1938(昭和13)年	紙・鉛筆・水彩	25.0×35.5
25	田	1951(昭和26)年	紙・鉛筆	25.0×35.5
26	田	1951(昭和26)年	紙・鉛筆	25.0×35.5
27	田	1951(昭和26)年	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	
28	野山柴	1946(昭和21)年	紙・鉛筆・水彩	29.0×22.0
29	野山柴	1946(昭和21)年	紙・鉛筆・水彩	30.0×22.0

第３展示室

No.	題　　名	制作年	技法・素材など	寸　法（cm）	備　考
30	野良着	－	紙・鉛筆・水彩	29.0×21.5	
31	雀小屋	1926(大正15)年	紙・鉛筆・水彩	25.5×22.5	※聖徳太子奉賛会第1回展覧会
32	刈り取り後	－	紙・鉛筆・水彩	32.0×22.5、22.0×21.0	
33	鰯賣（いわしうり）	1936(昭和11)年	紙・鉛筆・水彩	30.0×22.0、12.0×12.5	※第23回院展
34	吹き飛ばし（小下図）	1940(昭和15)年	紙・岩絵の具	24.0×47.0	※日本画大展覧会
35	苹果（小下図）	1949(昭和24)年	紙・鉛筆・水彩	44.0×58.5	※第34回院展
36	娘	－	紙・鉛筆・水彩	24.0×31.2	※第34回院展
37	菊	－	紙・鉛筆	55.0×38.0	
38	菊	－	紙・鉛筆・水彩	55.0×38.0	
39	りんご（篭）	－	紙・鉛筆・水彩	55.0×38.0	
40	柿	－	紙・鉛筆・水彩	38.5×55.0	
41	亀	－	紙・鉛筆・墨	38.5×55.0	
42	亀	－	紙・鉛筆・墨	38.5×55.0	
43	亀	－	紙・鉛筆・墨	38.5×55.0	
44	ハタハタ	－	紙・鉛筆・水彩	38.0×55.0	
45	鮎	－	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×38.0	
46	ハタハタ	－	紙・鉛筆・水彩	38.5×54.5	
47	蟹と魚	－	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×77.0	
48	りんご（皿）	－	紙・鉛筆・色鉛筆	55.0×76.0	
49	桜と菊	－	紙・鉛筆・水彩	37.8×55.8	
50	桜と菊	－	紙・鉛筆・水彩	37.8×27.5	
51	桜	－	紙・鉛筆・水彩	37.8×55.8	
52	桜	－	紙・鉛筆・水彩	37.8×27.5	
53	桜	－	紙・鉛筆・水彩	37.8×55.8	
54	鮒	－	紙・鉛筆・水彩	38.5×54.5	
55	鯉	－	紙・鉛筆・水彩	55.0×76.0	
56	鯉	－	紙・鉛筆・水彩	54.5×77.0	

第４展示室

No.	題　　名	制作年	技法・素材など	寸　法（cm）	備　考
57	桔梗	－	紙・鉛筆・水彩	38.0×55.0	
58	胡桃	－	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×38.0	
59	杜若	－	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×38.0	
60	シロヤマブキ	－	紙・鉛筆・色鉛筆	55.0×38.0	
61	シロヤマブキ	－	紙・鉛筆・色鉛筆	55.0×38.0	
62	ムクゲ	－	紙・鉛筆・色鉛筆	38.0×55.0	
63	ムクゲ	－	紙・鉛筆・色鉛筆	38.0×55.0	
64	薔薇	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・水彩	38.0×55.0	
65	薔薇	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	38.0×55.0	
66	薔薇	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・水彩	38.0×55.0	

67	薔薇	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	38.0×55.0	
68	薔薇	―	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×76.0	
69	薔薇	―	紙・鉛筆・色鉛筆	38.0×55.0	
70	薔薇	―	紙・鉛筆・色鉛筆	38.0×55.0	
71	薔薇	―	紙・鉛筆・色鉛筆	38.0×55.0	
72	木瓜	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・水彩	55.0×77.0	
73	花	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×76.0	
74	花	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×76.0	
75	花	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×76.0	
76	花	1954(昭和29)年	紙・鉛筆・色鉛筆・水彩	55.0×76.0	
77	午睡	1954(昭和29)年	紙本着色	42.5×64.0	※第39回院展

◇関連記事

秋田魁新報	11/18, 11/25, 12/2, 2011-1/6, 2011-1/21
河北新報	12/16
読売新聞	12/7
マリ・マリ	1/7
芸術新潮	2011-1月号
rakra	2011-1・2月号, 3・4月号
あきたタウン情報	2011-1月号, 3月号
月刊アンドナウ	12月号, 2011-1月号
市報よこて	11月15日号
ティカップ！	2011-1月号

vi 雪と遊ぶ～冬を楽しむ美術展

会期：2011(平成23)年２月５日(土)～４月17日(日)
主催：秋田県立近代美術館
担当：小笠原宏

雪にちなんだ作品を通して雪の美しさを見直し、冬の美術館を楽しんでもらおうという企画。日本画、洋画、版画合わせて51点を展示し、展示室内は雪景色をイメージして飾り付けを行った。合わせて野外の彫刻広場にかまくらを制作し、雪の広場にも入れるようにした。

第１展示室　雪も遊ぶ　雪のかたち

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
1	福田豊四郎	樹氷	1937(昭和12)年	紙本銀地着色四曲一隻	210.5×371.0
2	福田豊四郎	樹氷	1937(昭和12)年	絹本着色額装	69.8×86.2
3	寺崎　廣業	白馬雪渓	1917(大正6)年	絹本着色軸装	184.8×86.4
4	奈良　裕功	垣根の雪	1938(昭和13)年	紙本着色二曲一隻	176.0×176.0
5	平福　百穂	雪中南天雀	－	紙本着色軸装(扇面)	33.5×56.8
6	後藤　純男	秋田駒ヶ岳	1997(平成9)年	紙本着色額装	90.5×205.5
7	桜庭藤二郎	奥入瀬遅春	1980(昭和55)年	紙本着色額装	173.0×216.0
8	桜庭藤二郎	春浅し	1979(昭和54)年	紙本着色額装	173.5×219.0
9	桜庭藤二郎	山河	1983(昭和58)年	紙本着色額装	164.3×208.8
10	桜庭藤二郎	阿修羅遅春	1978(昭和53)年	紙本着色額装	178.0×224.5

第２展示室　雪も遊ぶ　雪に映える風景

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
11	葛西　　康	雪庭（寒日）	1962(昭和37)年	油彩、キャンバス	130.0×162.0
12	葛西　　康	雪庭讃歌	1972(昭和47)年	油彩、キャンバス	162.0×130.0
13	高橋　清見	雪明り	1995(平成7)年	紙本着色額装	180.0×223.0
14	木島　恭一	冬の木（冬眠から）	1969(昭和44)年	油彩、キャンバス	162.2×390.9
15	松本　弘二	雄物川の冬	1973(昭和48)年	油彩、キャンバス	91.0×116.7
16	内田　慎蔵	雪女の道	1967(昭和42)年	油彩、キャンバス	116.7×90.9
17	福田豊四郎	雪の一日	1928(昭和3)年	紙本着色額装(四面)	各59.5×184.0
18	信太　金昌	冬裡宿秋	1982(昭和57)年	紙本着色額装	162.1×227.3

第３展示室　雪で遊ぶ　雪と暮らす人々

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
19	勝平　得之	雪の村から	－	板目木版、紙	25.0×11.3
20	勝平　得之	河畔雪景	1934(昭和9)年	板目木版、紙	37.6×52.2
21	勝平　得之	雪の街	1954(昭和29)年	板目木版、紙	36.7×51.2
22	勝平　得之	雪国の村里	1931(昭和6)年	板目木版、紙	28.7×41.1
23	勝平　得之	雪国の市場	1931(昭和6)年	板目木版、紙	29.2×42.7

24	勝平　得之	店	1931(昭和6)年	板目木版、紙	28.7×41.0
25	勝平　得之	雪国の春	1943(昭和18)年	板目木版、紙	27.0×36.3
26	勝平　得之	秋田風俗十題・かきだて	1943(昭和18)年	板目木版、紙	29.0×40.4
27	勝平　得之	米作四題・堆肥運び（冬）	1949(昭和24)年	板目木版、紙	40.0×131.8
28	勝平　得之	八郎潟冬の漁場	1960(昭和35)年	板目木版、紙	26.2×65.2
29	酒井　三良	残照	1923(大正12)年	紙本着色軸装	136.0×112.0
30	福田豊四郎	雪国	1968(昭和43)年	紙本着色四曲一隻	168.7×255.6
31	福田豊四郎	雪のきた国	1925(大正14)年	紙本着色軸装	71.8×120.9
32	福田豊四郎	スキー少年	―	紙本着色額装	104.0×70.0
33	福田豊四郎	八郎湖凍漁	1941(昭和16)年	紙本銀地着色四曲一隻	213.8×374.6

第４展示室　雪で遊ぶ　雪まつり

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
34	勝平　得之	男鹿のナマハゲ	1962(昭和37)年	板目木版、紙	16.1×48.8
35	勝平　得之	ナマハゲ（男鹿）	1940(昭和15)年	板目木版、紙	左右39.7×15.0　中39.7×29.7
36	勝平　得之	雪国の子どもたち	1943(昭和18)年	板目木版、紙	39.7×81.1
37	勝平　得之	梵天奉納之図	1931(昭和6)年	板目木版、紙	27.4×39.9
38	勝平　得之	雪むろ	1932(昭和7)年	板目木版、紙	29.3×39.6
39	勝平　得之	かまくら	1955(昭和30)年	板目木版、紙	39.5×140.0
40	勝平　得之	秋田風俗冬の版画集其１	1934(昭和9)年	板目木版、紙(五枚組)	各13.7×9.1
41	勝平　得之	秋田風俗十態・彼岸花	1935(昭和10)年	板目木版、紙	39.9×28.8
42	勝平　得之	秋田風俗十態・笹飴	1936(昭和11)年	板目木版、紙	39.9×28.8
43	勝平　得之	秋田風俗十態・雛売り	1937(昭和12)年	板目木版、紙	39.9×28.8
44	勝平　得之	秋田風俗十態・梵天	1935(昭和10)年	板目木版、紙	39.9×28.8
45	勝平　得之	秋田風俗十態・あねこ	1936(昭和11)年	板目木版、紙	39.9×28.8
46	勝平　得之	秋田風俗十態・犬コ市	1936(昭和11)年	板目木版、紙	39.9×28.8
47	勝平　得之	花売風俗十二題・ねこ柳	1960(昭和35)年	板目木版、紙	21.0×14.9
48	勝平　得之	花売風俗十二題・つばき	1961(昭和36)年	板目木版、紙	21.0×14.9
49	勝平　得之	花売風俗十二題・かんばな	1959(昭和34)年	板目木版、紙	21.0×14.9
50	勝平　得之	花四題・冬・なんてん	1939(昭和14)年	板目木版、紙	67.2×36.9
51	館岡　栗山	なまはげ	―	紙本着色額装	151.0×207.0

◇関連記事

秋田魁新報　2011-2/10, 2/17
河北新報　2011-1/27
美術の窓　2011-2月号
新美術新聞　2011-3/1
秋田子育てナビ　2010-冬号
ティカップ！　2011-2月号

コレクション展

ｉ 知ってる？秋田のお宝 「美術館の眼Ⅴ 新収蔵作品を御紹介」

会期：2010(平成22)年４月７日(水)～７月11日(日)

第１展示室(６階)：新収蔵品展Ⅰ(日本画・下絵)
第２展示室(６階)：新収蔵品展Ⅱ(洋画・書・彫刻・写真)
第３展示室(６階)：日本画名作選
担当：木村雅洋

第１展示室　新収蔵品展Ⅰ（日本画・下絵）

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
1	平福　穂庵	アイヌ捕漁図	1884(明治17)年頃	紙本着色軸装	129.8×60.1
2	寺崎　廣業	南朝三忠臣	1887(明治20)年	紙本着色軸装	112.5×61.0
3	寺崎　廣業	遼東之月	1904(明治37)年	絹本着色軸装	101.0×31.5
4	小野崎大凌	春秋遊鹿花鳥図	－	絹本着色6曲1双	各131.0×301.8
5	平福　百穂	「牛」画稿(大下図)	1918(大正7)年頃	紙本墨画6曲1双	各168.5×373.8
6	結城　天童	四季の華	1988(昭和63)年	紙本着色6曲1隻	171.5×364.2
7	平福　百穂	巌頭千鳥図	1927(昭和2)年頃	紙本墨画淡彩襖4面･天袋	各177.0×89.8
8	平福　百穂	富岳図	1917(大正6)年	紙本墨画金彩天袋扉2点組	各23.1×81.8
9	平福　百穂	菊図	1917(大正6)年	紙本墨画金彩地袋扉2点組	各46.8×38.3
10	小川　歓斎	花鳥図屏風	1916(大正5)年頃	紙本着色6曲1隻	167.0×372.0

第２展示室　新収蔵品展Ⅱ（洋画・書・彫刻・写真）

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
11	石田　　黙	白い静物	1974(昭和49)年	油彩・キャンバス	97.0×130.6
12	石田　　黙	化石	1978(昭和53)年	油彩・キャンバス	162.1×162.0
13	田宮　　進	秋色風声(八幡平の秋)	1977(昭和52)年	油彩・キャンバス	130.0×162.0
14	田宮　　進	窓(白い家)	1967(昭和42)年	油彩・キャンバス	130.3×194.0
15	高橋　　功	コスモス２	2004(平成16)年	油彩・木	54.8×51.0
16	高橋　　功	コスモス３	2004(平成16)年	油彩・木	54.9×51.0
17	由利　耶一	ギゼーの石切場	1963(昭和38)年	油彩・キャンバス	162.0×130.0
18	由利　耶一	北のアトリエ	2006(平成18)年	油彩・キャンバス	130.0×162.1
19	金沢秀之助	雪のポンヌッフ橋	－	油彩・キャンバス	24.1×33.2
20	内田　慎蔵	相川善一郎先生像	1984(昭和59)年	油彩・キャンバス	60.5×45.5
21	池田　淑人	春の精	1975(昭和50)年	油彩・キャンバス	99.8×65.3
22	松井　如流	仁者楽山	－	紙・墨・屏風2曲1隻	各137.0×68.0
23	松田　芳雄	手	2001(平成13)年	ブロンズ・着色	H170.0×W64.0×D48.0
24	南　　利夫	伐採の授口	1953(昭和28)年	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	53.0×36.5
25	南　　利夫	２５年ぶりの伐採①	1980(昭和55)年	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	53.0×36.5
26	南　　利夫	２５年ぶりの伐採②	－	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	36.5×53.0
27	南　　利夫	寒気の中で丸太を運ぶ馬	1980(昭和55)年	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	53.0×36.5
28	南　　利夫	筏流し	－	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	36.5×53.0
29	南　　利夫	米代川を流れる筏	－	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	36.5×53.0
30	南　　利夫	丸太を運ぶ馬	1979(昭和54)年	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	53.0×36.5
31	南　　利夫	能代営林署貯木場	1954(昭和29)年	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	53.0×36.5
32	南　　利夫	樽丸産業　輪づみ作業	1961(昭和36)年頃	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	53.0×36.5
33	南　　利夫	樽丸産業	1963(昭和38)年	ｾﾞﾗﾁﾝ･ｼﾙﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ	53.0×36.5

第３展示室（日本画名作選）

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
1	(伝)小田野直武	菊慈童	1770年代	紙本墨画軸装	108.5× 57.0
2	作者不詳	蝦蟇仙人	―	絹本着色額装	94.0×56.0
3	長山　孔寅	鹿猿図	―	絹本墨画淡彩軸装	127.0×54.0
4	柴田　是眞	蘭亭曲水図	―	絹本着色軸装	155.0×86.0
5	増田　九木	牡丹	―	紙本着色軸装	108.0×53.2
6	川端　龍子	鵜	―	絹本着色軸装	136.2×51.2
7	結城　素明	不老富貴図	―	絹本着色軸装対幅	各127.0×41.8
8	吉川　霊華	駿馬	―	絹本着色軸装	140.0×51.0
9	加藤　雪窓	知音	1897(明治30)年	絹本着色軸装	145.0×71.0
10	福田豊四郎	草野	1933(昭和8)年	紙本着色2曲1隻	211.5×302.3
11	福田豊四郎	熔鑛爐	1933(昭和8)年	紙本着色額装	355.0×278.0
12	福田豊四郎	開墾地	1935(昭和10)年	紙本着色額装	75.8×55.5

◇関連記事

秋田魁新報　4/1

福島県立美術館ニュース　2～3月号

ⅱ 知ってる？秋田のお宝 「馬場彬とサトウ画廊の画家たち」

ピックアップアーティスト「馬場彬」

会期：2010(平成22)年７月14日(水)～10月17日(日)

第１展示室(６階)：馬場彬コレクション(油彩)

第２展示室(６階)：サトウ画廊の画家たち(油彩・版画・水彩)

第３展示室(６階)：日本画名作選・夏-秋の風物詩

担当：山本丈志、沼田 仁

第１展示室：洋画・ピックアップアーティスト「馬場彬」

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	備考
1	馬場　彬	作品	1960(昭和35)年	キャンバス・油彩	73.2×91.1	寄託品
2	馬場　彬	肖像の主題による作品	1960(昭和35)年	キャンバス・油彩	162. 1 ×130.3	寄託品
3	馬場　彬	作品	1961(昭和36)年	キャンバス・油彩	91.0×117.0	寄託品
4	馬場　彬	作品	1961(昭和36)年	キャンバス・油彩	130.5×162.0	寄託品
5	馬場　彬	作品Ⅲ	1961(昭和36)年	キャンバス・油彩	112.5×145.0	寄託品
6	馬場　彬	作品(囚)	1962(昭和37)年	キャンバス・油彩	162.0×130.5	寄託品
7	馬場　彬	作品	1962(昭和37)年	キャンバス・油彩	91.0×117.0	寄託品
8	馬場　彬	Relation1	1963(昭和38)年	キャンバス・油彩	91.0×91.0	
9	馬場　彬	作品	1965(昭和40)年	キャンバス・油彩	130.2×162.0	
10	馬場　彬	トルソ・メタフィジック	1966(昭和41)年	キャンバス・油彩	162.1×130.3	寄託品
11	馬場　彬	作品	1966(昭和41)年	キャンバス・油彩	130.0×162.0	寄託品
12	馬場　彬	存在のアンチ･モニュマン、又は廃墟風景	1977(昭和52)年	キャンバス・油彩	130.0×130.0	寄託品
13	馬場　彬	不確かなポートレート	1979(昭和54)年	キャンバス・油彩	130.0×130.0	寄託品
14	馬場　彬	アンチ･モニュマン	1981(昭和56)年	キャンバス・油彩	130.3×162.0	寄託品
15	馬場　彬	浮遊	1981(昭和56)年	キャンバス・油彩	130.3×162.0	寄託品

第２展示室：洋画・「サトウ画廊の画家たち」

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	備考
16	池田　龍雄	BRAHMAN 第1章梵天	1973(昭和48)年	紙・シルクスクリーン	50.5×51.0	ed.8/50
17	池田　龍雄	BRAHMAN 第1章梵天	1973(昭和48)年	紙・シルクスクリーン	50.5×50.5	ed.26/50
18	みのわ　淳	馬場彬へのオマージュ たちのぼる光彩 2004	2004(平成16)年	キャンバス・アクリル	100.6×50.5	
19	吉仲　太造	像＝男	1974(昭和49)年	紙・シルクスクリーン	50.6×36.5	ed.11/50
20	吉仲　太造	像＝女	1974(昭和49)年	紙・シルクスクリーン	50.6×36.5	ed.12/50
21	針生　鎮郎	ひとつ(ラ)	1982(昭和57)年	キャンバス・油彩	226.8×181.5	
22	針生　鎮郎	ひとつ(リ)	1982(昭和57)年	キャンバス・油彩	226.5×181.5	
23	針生　鎮郎	ひとつ(ロ)	1982(昭和57)年	キャンバス・油彩	227.0×182.0	
24	高橋甲子男	ＳＵＮ-Ａ	1968(昭和43)年	キャンバス・油彩	130.0×162.0	
25	高橋甲子男	ＳＵＮ-Ｂ	1968(昭和43)年	キャンバス・油彩	162.0×130.0	
26	高橋甲子男	ＳＵＮ-Ｃ	1968(昭和43)年	キャンバス・油彩	130.0×162.0	
27	高橋甲子男	玄山水十図　1.樹と木	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
28	高橋甲子男	玄山水十図　2.流れ	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
29	高橋甲子男	玄山水十図　3.森の精	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
30	高橋甲子男	玄山水十図　4.木だま	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
31	高橋甲子男	玄山水十図　5.豹と水明	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
32	高橋甲子男	玄山水十図　6.森の生きものたち	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
33	高橋甲子男	玄山水十図　7.双山の生きもの	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
34	高橋甲子男	玄山水十図　8.松林	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
35	高橋甲子男	玄山水十図　9.森のひびき	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
36	高橋甲子男	玄山水十図 10.鴉	2009(平成21)年	紙・エッチング	36.0×30.0	ed.13/20
37	近藤　竜男	Three Diagonal Stripes,Blue.'74	1974(昭和49)年	紙・シルクスクリーン	32.4×46.9	ed.7/45
38	近藤　竜男	Three Diagonal Stripes,Green.'74	1974(昭和49)年	紙・シルクスクリーン	32.4×46.9	ed.38/45
39	高山　　登	遊殺	1975(昭和50)年	紙・シルクスクリーン	51.0×35.9	ed.27/50
40	高山　　登	遊殺Ⅱ	1975(昭和50)年	紙・シルクスクリーン	51.0×36.1	ed.13/50
41	宮下　勝行	空華の塔	1999(平成11)年	紙・水彩	50.6×38.0	
42	宮下　勝行	夢寐に漂う緋の島	2000(平成12)年	紙・水彩	53.8×38.5	

第３展示室：日本画名作選「夏-秋の風物詩 」

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	備考
1	小田野直武	芍薬花籠図	―	絹本着色軸装	108.2×29.1	
2*	小田野直武	不忍池図 (8/2-8/22展示)	1770年代	絹本着色額装	98.5×132.5	重要文化財
2*	小田野直武	写生帖(上記期間をのぞき展示)	1770年代	紙本着色画帳	42.5×28.3	
3	平福　百穂	富貴草	―	絹本着色軸装	142.6×41.6	
4	平福　百穂	松籟泉聲	―	絹本墨画淡彩軸装	137.8×41.7	
5	平福　百穂	富嶽暁靄	―	絹本着色軸装	145.5×50.0	
6	平福　百穂	杜鵑夜	1929(昭和4)年	紙本墨画軸装	126.0×59.0	
7	寺崎　廣業	長恨歌	1913(大正2)年	絹本裏箔着色屏風6曲1双	171.0×373.5	
8	寺崎　廣業	不忍池畔(不忍池畔之夜景)	1894(明治27)年	絹本着色軸装	49.1×67.8	
9	福田豊四郎	案山子を立てる人	1931(昭和6)年	紙本着色額装	176.0×70.4	
10	福田豊四郎	水辺の夏	1931(昭和6)年	絹本着色額装	245.0×175.5	1931第12回帝展
11	福田豊四郎	海濱	1936(昭和11)年	紙本着色額装	209.5×236.2	
12	河津　胖子	夏の終わり	1997(平成9)年	紙本着色額装	102.0×102.0	1997第52回春の院展

◇関連記事

秋田魁新報　　8/19，8/26

新美術新聞　　9月21日号

ⅲ 知ってる？秋田のお宝 「果てしなき闇 山脇佐久子 the eternal chaos:sakuko yamawaki 」

ピックアップアーティスト「山脇佐久子」
会期：2010(平成22)年11月3日(水)～2011(平成23)年1月10日(月)

第１・２展示室(６階)：山脇佐久子コレクション(油彩・水彩)
第３展示室(６階)：日本画名作選
担当：山本丈志、小笠原宏

第1展示室

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	備考
早熟のキュービスト precocious cubist						
1	山脇佐久子	茄子と林檎と	1950年代	紙・水彩	38.0×53.8	寄託品
2	山脇佐久子	向日葵	1950年代	紙・水彩	37.8×54.1	寄託品
3	山脇佐久子	果菜習作	1950年代	紙・水彩	38.0×54.0	寄託品
4	山脇佐久子	デッサン「裸婦」	1950年代	紙・墨	35.3×29.2	寄託品
5	山脇佐久子	デッサン「二人」	1950年代	紙・墨	35.7×25.3	寄託品
6	山脇佐久子	デッサン「二人・林檎」	1950年代	紙・墨	38.1×54.1	寄託品
7	山脇佐久子	デッサン「裸婦」	1950年代	紙・墨	36.0×25.7	寄託品
8	山脇佐久子	デッサン「裸婦」	1950年代	紙・墨	38.2×27.0	寄託品
9	山脇佐久子	赫い人	1950年代	キャンバス・油彩	118.0×85.0	寄託品
10	山脇佐久子	人物習作	1950年代	キャンバス・油彩	42.0×32.0	寄託品
11	山脇佐久子	人物習作	1950年代	キャンバス・油彩	46.0×38.0	寄託品
12	山脇佐久子	赫の風景	1960年代	キャンバス・油彩	162.0×130.0	寄託品
13	山脇佐久子	蒼の風景	1960年代	板・油彩	162.0×130.0	寄託品
14	山脇佐久子	作品	1960年代	板・油彩	91.0×65.0	寄託品
15	山脇佐久子	作品H	1960年代	キャンバス・油彩	91.0×65.0	寄託品
16	山脇佐久子	作品	1960年代	キャンバス・油彩	91.0×65.0	寄託品
崩壊する色彩 crumbling colors						
17	山脇佐久子	あるがままに'91-1	1991(平成3)年	キャンバス・油彩	194.0×162.0	寄託品
18	山脇佐久子	あるがままに'91-2	1991(平成3)年	キャンバス・油彩	194.0×162.0	寄託品
19	山脇佐久子	相対異化・2	1992(平成4)年	キャンバス・ミクストメディア	162.0×194.0	寄託品
20	山脇佐久子	空・空1	1993(平成5)年	キャンバス・油彩	162.0×194.0	寄託品
21	山脇佐久子	無への序曲	1990年代	キャンバス・油彩	162.0×194.0	寄託品
22	山脇佐久子	無始来.a	1994(平成6)年	キャンバス・油彩	194.0×162.0	寄託品
23	山脇佐久子	位相・空間'95-1	1995(平成7)年	キャンバス・ミクストメディア	162.0×194.0	

第２展示室

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	備考
拡張へ the eternal chaos						
24	山脇佐久子	無への位相'96-1	1996(平成8)年	キャンバス・ミクストメディア	194.0×162.0	
25	山脇佐久子	無への位相'96-3	1996(平成8)年	キャンバス・ミクストメディア	194.0×162.0	寄託品
26	山脇佐久子	無への位相'96-4	1996(平成8)年	キャンバス・ミクストメディア	194.0×162.0	寄託品
27	山脇佐久子	無への位相'96-7	1996(平成8)年	キャンバス・ミクストメディア	194.0×162.0	寄託品
28	山脇佐久子	無題	1990年代	キャンバス・油彩	55.0×46.0	寄託品
29	山脇佐久子	拡張へ98-1	1998(平成10)年	キャンバス・ミクストメディア	182.0×227.0	
30	山脇佐久子	拡張へ98-2	1998(平成10)年	キャンバス・ミクストメディア	182.0×227.0	
31	山脇佐久子	拡張へ98-3	1998(平成10)年	キャンバス・ミクストメディア	182.0×227.0	
32	山脇佐久子	拡張へ98-4	1998(平成10)年	キャンバス・ミクストメディア	182.0×227.0	
33	山脇佐久子	無題	1990年代	キャンバス・油彩	55.0×46.0	寄託品

第３展示室

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
日本画名作選「山水画、風景画のたのしみ」					
34	小田野直武	富嶽図	1770年代	絹本着色軸装	43.5×77.0
35	平福　百穂	彩雲	1920(大正9)年	絹本着色額装	72.0×86.0
36	平福　百穂	渓山雨後	－	紙本墨画淡彩軸装	32.7×132.5
37	平福　穂庵	蕭何追韓信図	1886(明治19)年頃	絹本着色軸装	126.8×56.2
38	寺崎　廣業	瀟湘八景（遠浦帰帆）	1912(大正元)年	紙本着色軸装	52.1×86.8
39	寺崎　廣業	瀟湘八景（瀟湘夜雨）	1912(大正元)年	紙本着色軸装	52.1×86.8
40	寺崎　廣業	瀟湘八景（洞庭秋月）	1912(大正元)年	紙本着色軸装	52.1×86.8
41	寺崎　廣業	瀟湘八景（漁村落照）	1912(大正元)年	紙本着色軸装	52.1×86.8
42	寺崎　廣業	信濃の山路	1915(大正4)年	紙本墨画巻子装	43.0×1,005.0
43	福田豊四郎	山湖遊行巻	1929(昭和4)年	紙本着色1巻	66.0×1,090.0
44	福田豊四郎	十和田	－	紙本金地衝立	105.0×114.5
45	下村　観山	三保富士	1919(大正8)年	絹本金地着色6曲1双	各167.0×370.0
46	寺澤孝太郎	青緑山水	－	絹本着色	121.8×35.6
47	寺澤孝太郎	千山狭水	－	紙本着色	83.0×25.8
48	結城　素明	春秋山水	－	絹本着色軸装対幅	各126.0×46.0

◇関連記事

秋田魁新報　11/4,12/2
朝日新聞　12/17
市報・よこて　11月15日号
ギャラリー　2011 Vol.3　通巻311号

ⅳ 知ってる？秋田のお宝 「伊藤彌四夫 命の源を探る 神秘なる自然への眼差し」

ピックアップアーティスト「伊藤彌四夫」
会期：2011(平成23)年１月21日(金)～４月10日(日)

第１展示室(６階)：伊藤彌四夫コレクション(版画)
第２展示室(６階)：日本画名作選
第３展示室(６階)：洋画名作選
担当：沼田 仁

第１展示室：版画　ピックアップアーティスト「伊藤彌四夫」

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	ｴﾃﾞｨｼｮﾝ	主な出品歴
1	伊藤彌四夫	飛来 №25	1972(昭和47)年	木版・紙	90.0×60.0	ed.3/10	1973第23回モダンアート展
2	伊藤彌四夫	蝕 73.no.2	1973(昭和48)年	木版・紙	90.0×60.0	ed.3/10	1974第24回モダンアート展
3	伊藤彌四夫	光芒(仮題)	1983(昭和58)年	木版・紙	90.0×60.0	－	－
4	伊藤彌四夫	清風	1990(平成2)年頃	木版・紙	28.0×36.0	ed.6/10	－
5	伊藤彌四夫	浮遊	1993(平成5)年頃	木版・紙	60.0×45.0	ed.4/5	－
6	伊藤彌四夫	春暁	1992(平成4)年頃	木版・紙	90.0×60.0	－	1992第42回モダンアート展
7	伊藤彌四夫	浮上 94	1994(平成6)年	木版・紙	90.0×60.0	ed.3/5	1994第44回モダンアート展
8	伊藤彌四夫	光芒 86.no.3	1986(昭和61)年	木版・紙	90.0×60.0	ed.2/5	1986第36回モダンアート展
9	伊藤彌四夫	原生 98-A	1998(平成10)年	木版・紙	90.0×60.0	ed.1/5	1998第48回モダンアート展
10	伊藤彌四夫	原生 h-13-B	2001(平成13)年	木版・紙	90.0×60.0	ed.1/5	2001第51回モダンアート展
11	伊藤彌四夫	原生花 99-H	1999(平成11)年	木版・紙	60.0×45.0	ed.4/5	－

12	伊藤彌四夫	光耀	1973(昭和48)年	木版・紙	90.0×60.0	ー　1975第25回モダンアート展
13	伊藤彌四夫	原生 h-13-C	2001(平成13)年	木版・紙	40.0×30.0	ed.1/10　ー
14	伊藤彌四夫	原生 h-13-A	2001(平成13)年	木版・紙	90.0×60.0	ed.4/5　2001第51回モダンアート展
15	伊藤彌四夫	風の音	ー	木版・紙	40.0×30.0	ed5/10　ー

第２展示室：日本画名作選

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	主な出品歴等
1	小田野直武	鱒図	1770年代	紙本着色軸装	17.0×61.0	ー
2	平福　穂庵	岩に鴛	ー	紙本墨画淡彩軸装	103.4×58.4	ー
3	寺崎　廣業	絶峰催春	ー	絹本墨画軸装	137.0×56.0	ー
4	平福　百穂	老松	1916(大正5)年	紙本墨画屏風二曲一双	各180.2×162.7	ー
5	福田豊四郎	濤	1956(昭和31)年	絹本着色屏風四曲一隻	167.7×255.3	1974再興第54回院展
6	小松　　均	春の最上川	1974(昭和49)年	紙本墨画着色二面額装	各94.0×368.0	1974再興第54回院展
7	斎藤　英壱	北国に咲く	1976(昭和51)年	紙本着色額装	182.0×212.3	1976再興第61回院展
8	櫻庭藤二郎	山湖早春	1984(昭和59)年	紙本着色額装	165.2×209.5	ー
9	荘司　　福	季	1995(平成7)年	紙本着色額装	170.0×310.0	1996再興第80回院展

第３展示室：洋画名作選

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	主な出品歴等
1	佐藤　義男	自画像	1935(昭和10)年頃	キャンバス・油彩	41.9×31.8	ー
2	小西正太郎	婦人像	1925(大正14)年頃	キャンバス・油彩	73.0×60.0	ー
3	藤井　　勉	フリージア	1983(昭和58)年	キャンバス・油彩	90.9×116.5	ー
4	田宮　　進	丘(Sicilia Italia)	1964(昭和39)年	キャンバス・油彩	80.5×100.0	1965欧州作品展
5	田宮　　進	風車のある風景	1964(昭和39)年	キャンバス・油彩	80.5×100.0	1965欧州作品展
6	紺野　五郎	留守家族一待ちぼうけ	1975(昭和50)年	キャンバス・油彩	193.9×130.3	ー
7	紺野　五郎	いくつかの出会い	1982(昭和57)年	キャンバス・油彩	162.1×260.6	ー
8	紺野　五郎	留守家族一発車時刻	1975(昭和50)年	キャンバス・油彩	193.9×130.3	ー
9	伊藤　康夫	ARCADIA(鳩を追う)	1992(平成4)年	キャンバス・油彩	193.0×162.0	ー
10	小川　恒雄	地の徳	1991-1992年	キャンバス・油彩	181.3×227.3	1992全関西美術展・三席
11	佐藤　文雄	魚鼓(ほう)	1988(昭和63)年	キャンバス・油彩	181.3×227.3	ー
12	渋谷　重弘	野を盛る	1995(平成7)年	キャンバス・油彩	72.8×91.0	1995第30回昭和会展

◇関連記事

秋田魁新報　　2011-2/3

教育普及事業

美術に対する理解を深めることができ、誰でもが気軽に利用できる親しみやすい美術館を目指して、講演会、美術館教室、美術館講座などを開催している。また、美術館事業に関する広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、美術館関係図書資料の提供や県内の美術情報の提供など、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動を行っている。また、「あきたセカンドスクール」の一環として、美術館における学校の学習活動を促進している。また、来館が困難な地域の学校を対象に「出前美術館」を行っている。なお、団体鑑賞者に対する作品解説や、解説員及び美術館ボランティアによる美術館案内・作品解説も実施している。

No.	教室の種別・内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者数	担当
1	ワークショップⅠ 「カラー粘土でつくろう」	5月1日(土) 5月2日(日)	幼児から中学生とその保護者50組(100人程度)	当館学芸員	半日 午後	36組72人	小笠原、 樫尾、木村
2	一般美術教室Ⅰ 「超リアリズムに挑戦しよう！」	7月4日(日) 7月11日(日) 7月25日(日)	中学生以上一般 15名	渋谷重弘氏 (秋田公立美術工芸短期大学教授)	3日	14人	沼田、木村
3	一般美術教室Ⅱ 「デッサン教室Ⅲ」	7月25日(日)	中学生以上一般 50名	当館学芸員	半日 午後	26人	山本、樫尾
4	夏休み親子教室 「木でつくるおもちゃのどうぶつ」	8月1日(日)	小学生とその保護者15組(30人程度)	当館学芸員	1日	15組32人	小笠原、 沼田
5	岩合光昭写真展 ワークショップ	8月8日(日)	中学生以上一般 20名	岩合光昭氏 (写真家)	半日 午前	21人	木村、沼田
6	一般美術教室Ⅲ 「はじめての日本画Ⅳ ～野菜を描く～」	9月4日(土) 9月5日(日)	中学生以上一般 20名	当館学芸員	2日	17人	樫尾、山本
7	一般美術教室Ⅳ 「テラコッタで人体をつくる」	10月16日(土) 11月14日(日)	中学生以上一般 10名	皆川嘉博氏 (秋田公立美術工芸短期大学准教授)	2日	12人	小笠原、 木村
8	親子美術教室 「X'masオーナメントをつくろう」	12月5日(日)	小学生とその保護者15組(30人程度)	当館学芸員	1日	5組11人	山本、木村
9	ギャラリーツアー 「かんじきウォークで彫刻鑑賞」	2月6日(日)	制限無し 20人程度	当館学芸員	半日 午後	8人	小笠原、 沼田、樫尾
10	親子ワークショップ 「雪でどうぶつをつくる」	2月13日(日)	小学生とその保護者15組(30人程度)	当館学芸員	1日	2組4人	小笠原、 沼田、樫尾

美術館教室・ワークショップ

1. ワークショップⅠ「カラー粘土でつくろう」

（カラー粘土でつくろう）

「太田大八とえほんの仲間たち展」開催にあわせて、親子で楽しめるワークショップを実施した。５階の中央ホールの床に画板を置いて、カーペットの床に座ってカラー粘土を使ってすきな動物をつくった。最初に粘土の取扱いや混色について知ってもらうために、全員で「カエル」を作り、そのあと自由制作にうつった。混色で新しい色の粘土ができることがわかると、自分のイメージに合わせて粘土の量を調整しながら制作したり親子で役割を分担しながら制作したりする様子が見られ、なごやかに楽しく活動できた。柔らかく手にべたつかない粘土は扱いやすく子どもたちにも好評だったが、思ったより早く乾燥するため配慮が必要だった。出来上がった作品はケースに入れて持ち帰ってもらった。「知り合いに紹介したい」と粘土の購入を希望する参加者もいた。

2. 一般美術教室Ⅰ　「超リアリズムに挑戦しよう！」

（超リアリズムに挑戦しよう！）

秋田公立美術工芸短期大学教授の渋谷重弘先生をお迎えし、リアリズムをテーマに細密描写に挑戦した。モチーフは１～２個に絞り、キャンバスのサイズは小さいサムホールである。モチーフを机上に置き、キャンバスを寝かせての制作となった。早速自分が選んだ１色（主に茶色・青色系）とシルバーホワイトを混ぜ中間の暗さを作りながら、モティーフとのにらめっこで一筆一筆描き進める。モチーフはフランスパン、ミニトマト、卵殻などの単純な形の他、持参した金属製のミニチュア水差しなどがあった。はじめにテレピンを溶き油に使い描いたが、単色で描き終えると樹脂を溶き油に加えてゆく。モチーフ自体の色をつくり薄く重ねて描く際には渋谷先生の手取り足取りの指導もあって、参加者のは作品もまずまずの出来のようで講評会には満足感をもって参加していた。

3. 一般美術教室Ⅱ「デッサン教室Ⅲ」

（デッサン教室Ⅲ）

鉛筆やペンなど紙に描きやすい画材は画面の上を線が滑るように走りすぎ、余計な形まで描いてしまうことがある。それを押さえ、慎重に正確に描くために何かないかといろいろ探してみた。ある程度力を加えないと描けないもの、普通では描きにくいと思える画材を試して、古くからあるというメタルポイントに行き着いた。こうして３回目のデッサン教室は、慎重に精細な線描を重ねる、写実性の高いデッサンを目指した。金属は入手しやすいハンダ(錫と鉛の合金)を使用、これこそ鉛筆 というわけである。直接紙には描けなかったので、方解末とジェッソを混ぜたもので下地を作った。

参加者が持ち込んだ、表面が細かくごつごつしたモチーフ

にその下地と線描の効果をてきめんに発揮したようだ。カボチャ、煮干しはもちろん、ワイエスのような松ぼっくりもなかなかのできばえ。線描による量感表現までは進めなかったが、求める表現に沿う、様々な技法・画材を紹介するのも意義あるものだと感じている。

（木でつくるおもちゃのどうぶつ）

4. 夏休み親子教室「木でつくるおもちゃのどうぶつ」

夏休み期間の親子向けの教室として企画した。昨年の「さかなをつくろう」に続いて木を素材とし、自然素材のぬくもりを感じてもらうことを目標としている。動物の形に糸鋸で切り抜いた板をヤスリがけして滑らかにし、別に作った手足を棒材でつないで動かせるようにした。動物のポーズを色々変えて飾ることができる。部品が多く手間がかかるが、ヤスリがけなど個々の手順では熱中する親子の姿が見られた。素材の木の選択、出来上がる作品の魅力については改善の余地がある。

（岩合光昭「ねこ」ワークショップ）

5. 岩合光昭写真展「ねこ」ワークショップ

展覧会開催を記念して、動物写真家の岩合光昭氏を講師におむかえして開催した今回の写真ワークショップ。参加者が持参したペットなどの写真に岩合氏からコメントをいただくという内容で、それぞれが持ち寄った自慢の写真はさすがに「ウチのネコちゃん、ワンちゃん」への愛情に満ちている。しかし、岩合氏は「撮影者の気持ちが画面に反映されているのが、必ずしも“いい写真”ではありません」と一刀両断。画面いっぱいにペットを撮りたいと思う気持ちをぐっとこらえて構図や光の具合に気を配ること、さらに、かわいいだけではなく何か＋αを加えて写真にストーリー性を盛り込んだり、モデルとなった動物の気持ちが伝わってくるような撮影を心がけるようにとのアドバイスをされていた。長年の動物撮影に裏打ちされた的確なコメントには、参加者も目からウロコが落ちるような貴重な経験だったに違いない。

（はじめての日本画Ⅳ～野菜を描く～）

6. 一般美術教室Ⅲ「はじめての日本画Ⅳ～野菜を描く～」

この教室はこれで４回目となるが、今回はテーマを「野菜」とし、画面の大きさもこれまでより大きくしてＡ４サイズとした。モチーフは参加者に持参してもらい、デッサンしたものをもとに作品を仕上げた。これまでの教室では写真をもとに描いていたが、時間をかけて対象と向き合うことでその特徴をしっかりつかむことができたようだ。パネルはベニヤ板をそのまま使用し、アクリル絵の具とマットメディウム、方解末で地塗りをした。そのため混色や重ね塗りなどが比較的自由にでき、乾燥も早かったのでそれぞれのペースで制作ができたように感じる。また、二日連続で実施したため、参加

者同士が作品を見せあいお互い刺激を受けながら試行錯誤する様子が見られた。期間設定については間をあけて欲しいという声もきかれたので検討が必要であるが、２日間の実施の良さも確認できた。この教室にずっと参加し続けている方が７人おり、関心の高いリピーターがいることがわかる。新しいことを少しずつ加えながら初めて参加する人たちにも無理のない内容を考えていきたい。

（テラコッタで人体をつくる）

7. 一般美術教室Ⅳ「テラコッタで人体をつくる」

本格的な素材や技法を多くの人に触れてもらおうと、毎年開催される一般美術教室の彫刻教室に、今年度は彫刻家で秋田公立美術工芸短期大学准教授の皆川嘉博先生を迎えた。ちょうど同時期に開催の企画展「こころ揺さぶるモノづくり」に先生のテラコッタ作品が展示されていることもあり、作品と制作過程が両方見られるよい機会となった。実際にモデルを見ながら小さな全身像を作るのは難しかったと思われる。参加者には人体の形とバランスをとらえることの難しさと面白さを感じてもらえたのではないか。２週間ほど乾燥させた粘土は窯で焼成し、２回目の教室で少し着色して完成した。展示室で講師によるギャラリートークも行った。

（X'masオーナメントをつくろう！）

8. 親子美術教室「X'masオーナメントをつくろう!」

今回のオーナメント制作は、木の成形と彩色の二段階でクリスマスにちなんだキャラクターをつくった。トナカイなどの動物やサンタ、雪だるまなどを直接木の端材にスケッチし、糸鋸で切り出してやすりで木目をそろえた。絵の具はあらかじめクリスマスのイメージで混色したアクリル絵の具を用意。子どもたちはどうしてもチューブから出したままの鮮烈な色を使いたがるので、作品が画一的になってしまう。茶色を混ぜた鈍い色調の絵の具を用意して、直接塗るでもよし、さらに混色するもよし。美術館オリジナルのパッケージで包装して、手作りの妙味を活かしながら完成度の高いオーナメントができあがった。

（かんじきウォークで彫刻鑑賞）

9. ギャラリーツアー「かんじきウォークで彫刻鑑賞」

企画展「雪と遊ぶ」にちなんで野外のギャラリーツアーを実施した。保呂羽山少年自然の家から借用したかんじきを履いて、雪の上を散歩しながら野外彫刻を鑑賞するという内容。積雪で普段より近い距離で彫刻に親しむことができた。雪の上ではウサギの足跡を見つけたり、埋まっている彫刻を手で掘ったりもした。最後に広場内に作ったかまくらの中で甘酒を飲むなど、雪遊びを楽しめたのではと思う。開催日や広報の不備があってか参加者が少ないのが残念だった。

10. ワークショップ「雪でどうぶつをつくる」

企画展「雪と遊ぶ」にちなんで親子で参加できる教室を企画した。雪の彫刻広場で動物をテーマに小さめの雪像を作るという内容。前日に積んでおいた雪の塊をスコップなどで削ったり、付け足したりしながら形を作っていった。高さ１メートルくらいの雪像は存在感があり、削る作業も適度な抵抗感があって楽しめるものだった。開始時は天候に恵まれたが、午後は荒天となり、早めに作業を終了した。野外の活動の計画として難しい面がある。作品はしばらくそのままにして、広場を訪れた一般客にも紹介できた。広報の不備などから参加者が少ないのが残念だった。

（雪でどうぶつをつくる）

ミュージアムコンサート

日　　時：2010年6月19日(土)　1回目…午後1時半～午後2時
　　2回目…午後2時半～午後3時
場　　所：秋田県立近代美術館５階中央ホール
出　　演：横手マンドリンクラブ
観覧者数：191人
演奏曲目：服部良一作曲／青い山脈
　　H.C.Work作曲／大きな古時計
　　團伊玖磨作曲／花の街　　ほか

（横手マンドリンクラブ）

夏のミュージアムコンサート

日　　時：2010年8月21日(土)　1回目…午後1時半～午後2時
　　2回目…午後2時半～午後3時
場　　所：秋田県立近代美術館５階中央ホール
出　　演：秋田大学南米民族音楽サークルLa-mia
観覧者数：174人
演奏曲目：エンクエントロス
　　コンドルは飛んでいく
　　マリポーサ　　ほか

（秋田大学南米民族音楽サークルLa-mia）

美術館ボランティア企画　ミュージアムコンサート

日　　時：2010年9月23日(木)　午後1時半～午後2時10分
場　　所：秋田県立近代美術館５階中央ホール
出　　演：橋本紀夫氏(Violin)、田口眞理子氏・伊藤朋子氏(Piano)
観覧者数：119人
演奏曲目：G.U.Fauré作曲／舟歌(バルカローレ)
　　F.F.Chopin作曲／ワルツ　変ホ長調－遺作－
　　L.Anderson作曲／忘れられた夢　　ほか

（前田英樹氏）

前田英樹ピアノコンサート

日　　時：2010年10月11日(月)　1回目…午後1時半～午後2時
　　2回目…午後2時半～午後3時
場　　所：秋田県立近代美術館５階中央ホール
出　　演：前田英樹氏(Piano)
観覧者数：224人
演奏曲目：J.S.Bach作曲／インヴェンション第11番BWV.782
　　L.van.Beethoven作曲／ソナタ第8番「悲愴」作品13第3楽章
　　F.F.Chopin作曲／ノクターン第2番作品9-2　　ほか

秋のミュージアムコンサート

日　　時：2010年11月6日(土)　1回目…午後1時半～午後2時10分
　　2回目…午後3時～午後3時40分
場　　所：秋田県立近代美術館５階中央ホール
出　　演：小野安広氏(Flute)、小野真弓氏(Soprano)、西川香氏(Piano)
観覧者数：184人
演奏曲目：セレナーデ《百万長者のアルカン》より
　　A.L.Dvořák作曲／ユーモレスク
　　アメイジング・グレイス　　ほか

小野安広氏(右)、小野真弓氏(中)、西川香氏(左)

美術講座・美術講演会

「太田大八と絵本の仲間たち」展講演会　WAVE in よこて
日時：１日目　平成22年６月５日（土）13:00～16:00
２日目　６月６日（日）9:30～15:30
演題：１日目
①講演「太田大八とえほんの仲間たち」
講師：小野明（編集者）
②講演「激しく創った僕の絵本」
講師：田島征三（絵本作家）
２日目
①シンポジウム「日本の絵本：戦後60年の歩みPART２」
シンポジスト：田島征三、西巻茅子、田島征彦（絵本作家）
司会進行　：穂積保（こどもの本WAVE代表）
②講演「型絵染と絵本」
講師：田島征彦（染色家・絵本作家）
③講演「『紙とエンピツ』を編集して」
講師：落合直也（BL出版編集長）
参加者：159名

（WAVE in よこて）

絵本作家太田大八が設立した「こどもの本WAVE」が主催。二日間にわたり、絵本作家や編集者による講演やシンポジウムが開催された。

１日目は、編集者小野明の目で見た太田大八や15人の作家たちの絵本のおもしろさや特徴について、実際の絵本を使って解説。具体的な技法やエピソードなどが紹介された。絵本作家田島征三は、自身の病気をきっかけに環境問題と向き合うことになったことや自然の中で生活しながら作り上げてきた絵本のこと、双子の兄の田島征彦とのエピソードが語られた。また、新潟県十日町市の「絵本と木の実の美術館」の紹介を含めて、絵本の世界にとらわれない木の実を使った現代アートにも挑戦し続けていることなどが紹介された。２日目は、絵本作家３名とWAVE代表者によるシンポジウム。前回の（他県で開催された）シンポジウムを受けた形でそれぞれの制作と絡めて話があった。午後からは、絵本作家田島征彦の型絵染めによる制作についての話と、ＯＨＰを使った読み聞かせがあった。作家自身による読み聞かせは、作家の気持ちがダイレクトに伝わってきてたいへん味わい深いものだった。編集者落合直也は、ＰeeBooやこどもの本WAVEの活動について紹介。なかでも故人となった長新太の作家活動については貴重なビデオフィルムが上映され、参加者も喜んでいた。両日とも講演の後にサイン会が実施され好評だった。

「太田大八とえほんの仲間たち展」展　読み聞かせ

日時：５月８日(土)、22日(土)、29日(土) 計３日間
各日 11:30～12:00、13:30～14:00
講師：田丸美穂（秋田県子ども読書支援センター）
参加者：計100名

（絵本読み聞かせ）

洋画のキラキラ　福島県立美術館名品展ギャラリートーク
講師：堀宜雄氏（福島県立美術館）、
**　　山本丈志（当館学芸員）**
日時：2010（平成22）年６月26日（日）14:00～
会場：５階展示室
参加者：61名

当館では久しぶりに世界の名画が並ぶとあって、開催初日のギャラリートークにも待ち望んだ美術ファンが大勢集まった。ギャラリートークは福島県立美術館の学芸員堀宜雄氏と当館学芸員のダブルキャストで行い、それぞれの得意分野を受け持ちながら進行した。特に収集のエピソードや作家・作品発掘にまつわる話はたいへん興味深く、これこそ堀氏ならではもので、その1点1点の解説をうかがいながら、作品をこよなく愛し大切にしている人柄が感じられた。作品の見方だけでなく、額やガラスなど作品を保護するものの話まで及び、来場者に学芸員の仕事の一端を知っていただく、よい機会になっただろう。

（福島県立美術館名品展ギャラリートーク）

岩合光昭写真展「ねこ」アーティストトーク
講師：岩合光昭氏（写真家）
日時：2010（平成22）年８月７日（土）10:30～、13:00～
**　　８日（日）13:00～**
会場：５階展示室
参加者：353名（7日・216名、8日・137名）

岩合光昭写真展「ねこ」の開催にあたり、岩合氏ご本人を美術館にお迎えしてアーティストトークをしていただいた。初日と２日目に行ったトークはいずれも大盛況で、岩合氏は244点にものぼる展示写真の中からいくつかを例に挙げ、撮影の際の面白いエピソードなどを紹介されていた。そのお話を聞けば聞くほど、氏の魅力的な写真の裏には、長年の経験によって培われた「ねこ」の存在を捉える感覚と、もはやネコに同化したかのようなその目線、容易にシャッターチャンスをあきらめない不屈の精神があるのだと感じずにはいられなかった。トークの後に行ったサイン会にもたくさんの申し込みがあり、一人一人に丁寧なねこのイラスト入りサインを描かれていた岩合さんの姿が印象的だった。

（岩合光昭写真展アーティストトーク）

「こころ揺さぶるモノづくり」展 関連事業

講演会

1「モノづくりの世界－秋田のアート、いまこれからー」（パネルディスカッション）

パネリスト：工芸美術学科　松本研一教授、島屋純晴教授、
小牟禮尊人教授、芝山昌也准教授、長沢桂一准教授、
産業デザイン学科　天貝義教教授、井上豪准教授、
阿部由布子講師
（自己紹介及び秋田のアートについての意見・感想発表）

期日：2010（平成22）年10月17日（日）午後2時～4時

会場：６階研修室

参加者：75名

（対談・秋田200年の美術と秋田美短）

2「秋田200年の美術と秋田美短」（対談・講演）

講師：河野元昭館長、樋田豊次郎学長
（対談及び樋田学長による講演）

期日：2010（平成22）年10月30日（土）午後1時30分～3時30分

会場：６階研修室

参加者：58名

3「地域とデザイン」（討論会）

第１部　事例発表

「秋田の地場産業とデザイン」	産業デザイン学科	五十嵐潤教授
「あきた川反の電柱アートと地域づくり」	産業デザイン学科	官能右泰教授
「新屋地区の活性化とデザイン」	産業デザイン学科	石垣充准教授
「大森山動物園とデザイン教育」	産業デザイン学科	ベ ジンソク准教授
「市民活動と公共デザイン」	産業デザイン学科	菅原香織助教
「アートとデザインによるまちづくり」	工芸美術学科	島屋純晴教授

第２部　シンポジウム

テーマ「デザインは地域活性化に役立つの？」

事例発表者と会場参加者との質疑応答

コーディネーター：産業デザイン学科　渡邊有一教授

期日：2010（平成22）年11月14日（日）午後2時～4時

会場：６階研修室

参加者：20名

ギャラリートークⅠ、Ⅱ、Ⅲ

講師：秋田公立美術工芸短期大学教員（自作解説を中心として）

期日：2010（平成22）年10月24日（日）午後2時～、
10月30日（土）午後4時～、11月7日（日） 午後2時～

会場：５階展示室

参加者：Ⅰ 42名、Ⅱ 43名、Ⅲ 64名

（ギャラリートーク）

ワークショップ「杉モノデザインワークショップ」

講師：産業デザイン学科　菅原香織助教

期日：2010（平成22）年11月7日（日）
午前10時～12時、午後1時～3時の2回

内容：杉を薄くスライスした杉短板シートを使って杉灯籠の制作

会場：１階実習室

参加者：14名

美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるために、河野元昭館長が美術館講座として「鎌倉時代の美術」を8回実施した。また、秋田市の秋田県生涯学習センターを会場に、館長が講座を3回実施した。詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「館長講座」－鎌倉時代の美術－
講師：河野元昭館長
全8回、登録受講者数 79名、延べ受講者数　368名（6F 研修室）
① 5月16日　東大寺復興と運慶・快慶「南大門仁王像」
② 6月13日　運慶「無著・世親像」と快慶「僧形八幡神像」
③ 7月11日　阿弥陀二十五菩薩来迎図（早来迎）と山越阿弥陀図
④ 9月12日　那智瀧図と宮曼荼羅
⑤10月16日　佐竹本三十六歌仙絵巻と随身庭騎絵巻
⑥11月 7日　源頼朝像と明恵上人像
⑦ 1月 9日　平治物語絵巻と蒙古襲来絵巻
⑧ 2月 6日　北野天神縁起絵巻と一遍上人伝絵巻

◇県生涯学習センター（美の国れんけいカレッジ）
明快！Artゼミ　「江戸絵画発見の旅～番外編～」
講師：河野元昭館長
全3回、延べ受講者数 140名
① 6月25日　英一蝶筆　「仏涅槃図」（ボストン美術館蔵）
② 7月23日　呉春筆　　「山水図屏風」（東京国立博物館蔵）
③ 8月27日　酒井抱一筆「鶴懸松図」（個人蔵）

美術館ボランティア (AMC‘アムック’Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づき導入され、その活動を通して各自が学習し、その成果を実践に移すことを目標にすると共に、県民と美術館の懸け橋として、より多くの人々に親しまれる身近で開かれた美術館作りを目指している。

活動は、1カ月に1日(又は半日を2回)以上の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。新会員に対しては事前研修終了後、実際の活動に入ってもらった。活動内容は、案内受付活動、資料整理・印刷物の発送準備作業など事務補助活動、野外彫刻作品の清掃などの他、会員への毎月の会報作成や、他県美術館における研修なども行っている。

◆会員数・活動内容

1　会員数　82名

2　活動内容

①　案内受付活動
- ⅰ　館内案内、誘導（館内各施設、順路ほか）
  - ・身障者、老人、子供対応
  - ・団体の整理、誘導
  - ・非常時の誘導
- ⅱ　美術鑑賞マナーの普及活動
- ⅲ　資料配付（リーフレット、作品解説チラシほか）
- ⅳ　質問対応(展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

②　事務補助活動
- ⅰ　印刷物発送準備作業(ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)
- ⅱ　図書・新聞等の資料整理

③　自己研修
- ⅰ　ハイビジョン鑑賞(番組、データベース)
- ⅱ　館蔵作品の調査研究等(図書資料室)
- ⅲ　鑑賞学習会（ギャラリートーク)、ワークショップ等への参加

④　その他の活動
- ⅰ　ボランティア主催の6/13昔語り(中川さん)・9/23ミュージアムコンサート（田口･橋本･伊藤さん）の実施
- ⅱ　ミュージアムコンサート等のＰＲ活動、手伝い
- ⅲ　講演会準備の手伝い
- ⅳ　野外彫刻の清掃
- ⅴ　印刷物(ＡＭＣ通信など)の作成・発行

◆おもな関連行事

①　鑑賞学習会(企画･特別展5本、コレクション展4本で各1～2回)
②　役員会(13回)
③　講演会・美術館講座・コンサートへの参加
④　研修旅行(10/31天童市広重美術館、村山市真下慶治記念美術館)
⑤　交流会(6/20 当館7階展望室,1/23バル･パサポルテ)
⑥　新会員研修講座(随時)
⑦　総会(3/13)

博物館実習

期間：2010(平成22)年9月8日(水)～13日(月)　6日間
実習生所属大学及び人数

弘前大学1名　　東北芸術工科大学1名　　山形県立米沢女子短期大学1名
福島大学1名　　富山大学1名　　東京学芸大学1名　　計6名

◆実習内容

期　日	実　習　内　容
9月 8日(水)	オリエンテーション、セカンドスクール的活動補助、教育普及事業に関する実習1(造形活動)
9月 9日(木)	収蔵品の展示に関する実習、教育普及事業に関する実習2(鑑賞教育)
9月10日(金)	作品の取扱いと保存・修復に関する実習1(掛け軸)、〃実習2(写真)
9月11日(土)	野外彫刻の保存管理及び点検洗浄実習、施設・設備の見学、館長講話、美術図書資料整理
9月12日(日)	広報活動補助、美術館講座聴講・補助活動、受付・監視業務補助
9月13日(月)	収蔵品の展示に関する実習、写真作品及び鑑賞シート整理、実習反省会

ハイビジョンソフトウェア制作

ハイビジョンギャラリーでは、所蔵品及び世界の名品を高精細大型映像で鑑賞することと、所蔵品の画像や解説等の情報を自由に検索することができるが、そのためのソフトウェアを制作している。

◇静止画番組のタイトル

◇ 2010（平成 22）年度制作なし

◇ 2009（平成 21）年度までの制作（23 タイトル）

1　時代の先駆者　平福穂庵
2　気韻生動の画家　平福百穂
3　福田豊四郎　　新日本画をめざして
4　自然と人間への憧憬　福田豊四郎
5　勝平得之　木版画の世界　雪国の風俗
6　洋風画の泰斗　小田野直武　近代の予兆
7　所蔵日本画名作撰
8　所蔵彫刻名作撰　彫刻への誘い
9　所蔵彫刻名作撰　彫刻との対話Ⅰ
10　所蔵彫刻名作撰　彫刻との対話Ⅱ
11　勝平得之　木版画の世界　豊作への歩み
12　鍛金の巨匠　関谷四郎
13　昭和の書家　松井如流　悠久の美
14　横山津恵　清新な美の軌跡
15　近代日本画の巨匠　寺崎広業
16　魂との対話　高田博厚
17　佐々木英－彩切貝・蒔絵の小宇宙－
18　光と風の中で－彫刻の四季－
19　小西正太郎　画家と女神たち
20　ようこそ美術館へ！
21　秋田洋画壇の先駆者たち
22　馬場彬　僕のグレーこそ美しい
23　伊藤弥太　あくなき絵画の求道者

◇購入ソフト

1　美術のたのしみ（10 タイトル）
2　エルミタージュ美術館Ⅰ・Ⅱ（20 タイトル）
3　オルセー美術館Ⅰ・Ⅱ（18 タイトル）
4　フィレンツェ・ルネサンスⅠ（8 タイトル）
5　日本で見られる 19 世紀フランス美術（20 タイトル）
6　パリで見られる 19 世紀フランス美術（10 タイトル）
7　印象派展覧会（8 タイトル）
8　連作の地力（12 タイトル）
9　都市の表情（4 タイトル）
10　日本絵画の至宝　絵画編　第 2 巻（30 タイトル）

◇所蔵品データベース

平成 22 年度入力　　0 点
平成 21 年度までの入力　1075 点

※平成 17 年度に上記ハイビジョンソフトを有効活用すべく、大幅なハイビジョン機器システムの更新を完了した。

出前美術館
「出前美術館～ＡＲＴが学校にやってきた！」

会期：2010 年 10 月 5 日(火)～ 10 月 10 月(日)
主催：秋田県立近代美術館
共催：八峰町教育委員会
会場：八峰町立塙川小学校
担当：三浦 直、樫尾康子
作品数：48 点（日本画 15、洋画６、版画 14、工芸２、
　　書道３、彫刻４、木の遊具４）
参加者（児童・生徒・教員・一般）：615 名

どこの学校でも芸術作品による鑑賞体験ができるようにと来館が難しい地域の学校にはこちらから出向いて展覧会を実施している。この事業は今年で６年目を迎え訪問校も 13 校を数えるまでになった。今年は 10 月 5 日から 10 月 10 日までの６日間にわたり八峰町の塙川小学校で実施した。同校は創立 130 年の伝統ある学校で、児童数は 70 名と小規模だが、じっくり作品を鑑賞しお互いに感想を言い合うなど充実した時間を過ごすことができたようだ。みるだけでなく、ふれたり遊んだりできる作品は人気があり、休み時間も展示場所を訪れ楽しむ様子がみられた。近隣の小中学校や地域の方々、学習発表会の日は保護者の方もたくさん訪れ作品を楽しんでくれた。町の教育委員会の配慮でボランティアや職員の方が毎日配置され、作品のそばで子どもたちを見守ってくれた。これは安全面管理面だけでなく子どもたちの楽しい鑑賞活動を支えてくれるものとなり、ありがたかった。

◇関連記事
北羽新報　10/7

県立美術館移転新築記念及び能代市芸術文化協会60周年記念
及び能代市文化会館30周年記念事業
「レオナール・フジタがやってきた」展

会期：(横手展)2010 年 10 月 23 日(土)～ 10 月 31 日(日)、
　　(能代展)11 月 6 日(土)～ 11 月 14 日(日)
会場：(横手展)秋田県立近代美術館　６階第１～第３展示室、
　　(能代展)能代市文化会館　中ホール
主催：秋田県　秋田県教育委員会　財団法人平野政吉美術館
　　秋田県立近代美術館
共催：能代市　能代市教育委員会　能代市文化会館
担当：三浦 直、木村雅洋
入場者数：横手展 2,843 人、能代展 2,691 人

藤田嗣治（Leonard Foujita, 1886 年 11 月 27 日 – 1968 年 1 月 29 日）は東京都出身の画家である。女性と子どもを多く描き、日本画の技法を油彩画に取り入れ生み出した独自の裸婦像などは西洋画壇の絶賛を浴び、フランスのレジオン・ドヌール勲章

も受賞した。

秋田県立美術館は、秋田市の蒐集家平野政吉氏の米蔵で 15 日間かけて制作した大壁画「秋田の行事」をはじめ財団法人平野政吉美術館が所有する藤田作品を多数展示している。秋田市中通一丁目地区市街地再開発に伴う新美術館建設は平成 24 年の開館に向け工事が始まっており、この機会に藤田嗣治作品を広く知っていただくため、県北と県南で展覧会を開催し、県が所有する作品と合わせて油絵、版画、スケッチなどの藤田作品 64 点を紹介した。

No.	作品名	制作年	技法	寸法(cm)	所蔵先
1	自画像	1922(大正 11)	紙･エッチング	39.5 × 26.0	秋田県立近代美術館
2	自画像	1926(大正 15)	紙･エッチング	44.5 × 34.0	秋田県立近代美術館
3	藤田一家	1931(昭和 6)	紙･鉛筆	35.2 × 27.8	秋田県立近代美術館
4	平野政吉像	―	紙･鉛筆	31.0 × 28.0	秋田県立近代美術館
5	秋田おばこ	1936(昭和 11)	紙･墨･淡彩	86.2 × 45.0	秋田県立近代美術館
6	雪国の少女	1936(昭和 11)	紙･墨･淡彩	124.6 × 30.8	秋田県立近代美術館
7	秋田川反美人図絵	―	絹･墨･淡彩	46.5 × 37.5	秋田県立近代美術館
8	裸婦	1932(昭和 7)	紙･鉛筆	47.5 × 65.8	秋田県立近代美術館
9	裸婦	1932(昭和 7)	紙･鉛筆	35.0 × 53.0	秋田県立近代美術館
10	裸婦	1932(昭和 7)	紙･鉛筆	35.0 × 50.5	秋田県立近代美術館
11	裸婦	1932(昭和 7)	紙･鉛筆	49.0 × 76.0	秋田県立近代美術館
12	裸婦	1932(昭和 7)	紙･鉛筆	41.4 × 52.7	秋田県立近代美術館
13	裸婦立像	1932(昭和 7)	紙･鉛筆	140.1 × 42.6	秋田県立近代美術館
14	裸婦立像	1931(昭和 6)	紙･鉛筆	139.6 × 45.9	秋田県立近代美術館
15	裸婦立像	1931(昭和 6)	紙･鉛筆	124.5 × 33.8	秋田県立近代美術館
16	横臥裸婦	1931(昭和 6)	紙･鉛筆	47.8 × 60.0	秋田県立近代美術館
17	横臥裸婦	1932(昭和 7)	紙･鉛筆	49.0 × 85.0	秋田県立近代美術館
18	横臥裸婦 ＊夢	1948(昭和 23)	紙･エスタンプ	50.8 × 61.3	秋田県立近代美術館
19	オペラ座の夢	―	油彩・キャンバス	23.0 × 28.0	秋田県立近代美術館
20	裸婦 ＊立っている裸婦	―	紙･エッチング	56.0 × 37.5	秋田県立近代美術館
21	裸婦 ＊女ともだち	―	紙･エッチング	56.0 × 37.5	秋田県立近代美術館
22	三人の裸像	―	紙･鉛筆	123.0 × 81.0	秋田県立近代美術館
23	女二人	1925(大正 14)	紙･エッチング	19.5 × 17.5	秋田県立近代美術館
24	裸婦 ＊眠る女	1930(昭和 5)	紙･エッチング	34.0 × 26.3	秋田県立近代美術館
25	少女（マドレーヌ）	1936(昭和 11)	紙･墨･淡彩	40.0 × 26.0	秋田県立近代美術館
26	猫を抱く少女	―	紙･リトグラフ	32.0 × 54.0	秋田県立近代美術館
27	パンを持つ少女	―	紙･リトグラフ	56.5 × 38.0	秋田県立近代美術館
28	北フランス風景	1936(昭和 11)	紙･墨･淡彩	133.0 × 32.0	秋田県立近代美術館
29	フランス風景	1939(昭和 14)	油彩・キャンバス	65.5 × 91.0	秋田県立近代美術館
30	南フランス風景	1936(昭和 11)	紙･墨･淡彩	131.5 × 32.5	秋田県立近代美術館
31	狐	―	紙･墨	134.0 × 33.0	秋田県立近代美術館
32	猫と蜂	1938(昭和 13)頃	紙･墨	137.8 × 32.8	秋田県立近代美術館
33	喧嘩	1937(昭和 12)	紙･墨	42.5 × 49.0	秋田県立近代美術館
34	猫	1948(昭和 23)	紙･墨	35.8 × 43.5	秋田県立近代美術館
35	カニ	1938(昭和 13)頃	紙･墨	134.0 × 33.2	秋田県立近代美術館
36	なまず	1936(昭和 11)	紙･墨	35.4 × 30.4	秋田県立近代美術館
37	木の実と魚	―	紙･墨･淡彩	57.5 × 33.0	秋田県立近代美術館
38	室内の女二人	1932(昭和 7)	キャンバス･油彩	95.0 × 77.0	財団法人平野政吉美術館
39	1900 年	1937(昭和 12)	油彩・キャンバス	114.0 × 110.5	財団法人平野政吉美術館
40	私の画室	1938(昭和 13)	油彩・キャンバス	36.3 × 44.2	財団法人平野政吉美術館

41	台所	1940(昭和 15)	油彩・キャンバス	36.5 × 44.2	財団法人平野政吉美術館
42	黙示録の７人のラッパ手	―	紙･ｴｯﾁﾝｸﾞ･手彩色	40.5 × 32.4	秋田県立近代美術館
43	黙示録の四騎士	―	紙･ｴｯﾁﾝｸﾞ･手彩色	40.5 × 32.4	秋田県立近代美術館
44	ﾘﾄｸﾞﾗﾌｨ子供ｼﾘｰｽﾞ･煙突掃除	―	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	秋田県立近代美術館
45	編み物	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.4	財団法人平野政吉美術館
46	『小さな職人と商人』より《自画像》	1960(昭和 35)	木口木版・紙	26.8 × 22.0	財団法人平野政吉美術館
47	『小さな職人と商人』より《印刷工》	1960(昭和 35)	木口木版・紙	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
48	『小さな職人と商人』より《焼き栗売り》	1960(昭和 35)	木口木版・紙	19.0 × 18.6	財団法人平野政吉美術館
49	『小さな職人と商人』より《ガラス売り》	1960(昭和 35)	木口木版・紙	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
50	『四十雀』より《ワイン》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
51	『四十雀』より《うわさ話》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
52	『四十雀』より《たばこ》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
53	『四十雀』より《お金》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
54	『四十雀』より《パリの城壁》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
55	『四十雀』より《香水》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
56	『四十雀』より《オートクチュール》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
57	『四十雀』より《大聖堂》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
58	『四十雀』より《肌着》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
59	『四十雀』より《グルメ》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
60	『四十雀』より《発明》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
61	『四十雀』より《切手》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
62	『四十雀』より《絵画》	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.0 × 19.0	財団法人平野政吉美術館
63	料理人	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.4 × 19.3	財団法人平野政吉美術館
64	パンを持つ少女	1963(昭和 38)	紙・リトグラフ	19.5 × 20.0	財団法人平野政吉美術館

このほか、・藤田写真パネル２枚　「藤田嗣治とマドレーヌ　1934 年　戸塚のアトリエにて」
「藤田嗣治とマドレーヌ　1936 年　呉にて」
・「秋田の行事」１／４写真パネル
・秋田市中通一丁目地区市街地再開発紹介パネル
・新美術館と設計者安藤忠雄氏の紹介パネル　を参考展示

◇関連記事
秋田魁新報　10/25
河北新報　10/26
北羽新報　11/7
市報よこて　10月1日号

ネットワーク事業　（共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館）

第１期ネットワーク事業　**世界最古の美術雑誌「國華」展**

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
会期：2010(平成22)年7月22日(木)～8月21日(土)　30日間（休館日8月2日）
展示作品　　当館所蔵品から沈南蘋「鶴」(県指定文化財)、寺崎廣業「王摩詰」「天の岩戸」など5点、
　　土屋秀禾「佐竹本三十六歌仙絵巻模写」、高橋萬年「巒山筆一掃百態図模写」のほか、
　　「國華」関連号及び関連作品パネル等を展示
関連事業　　秋田ふるさとセミナー第１回　「世界最古の美術雑誌『國華』」
　　講師：河野元昭館長（『國華』主幹）
　　期日：2010(平成22)年8月6日(金)13:30～15:00
　　会場：秋田県立図書館3階多目的ホール
　　参加者：40名
担当：三浦 直・樫尾康子
入場者数：3,714名

第２期ネットワーク事業　**清新な美の軌跡　横山津恵展**

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
会期：2010(平成22)年12月15日(水)～2011(平成23)年2月6日(日)　45日間（休館日12月28日～1月3日、2月1日）
展示作品　　当館所蔵の横山津恵作品から、春の院展出品作を中心に初期から晩年に至る作品14点のほか、
　　絵の具や筆類等遺品を展示
担当：三浦　直・樫尾康子
入場者数：4,945名

第46回横手地区高校美術展

会期：2010(平成22)年9月9日(木)～9月14日(火)
会場：ふれんどりーギャラリー
主催：横手地区高校美術連盟（事務局校：横手高等学校）
参加校：　平成高校、増田高校、雄物川高校、横手高校、横手城南高校、横手清陵学院高校
展示作品：絵画20点、デザイン60点、彫刻1点

第46回横手地区高校美術展（冬季展）

会期：2011(平成23)年2月17日(木)～2月23日(水)
会場：ふれんどりーギャラリー
主催：横手地区高校美術連盟（事務局校：横手高等学校）
参加校：　平成高校、増田高校、雄物川高校、横手高校、横手城南高校、横手清陵学院高校
展示作品：絵画10点、デザイン62点、立体１点

昨年度に続いて行った、当館と共催での横手地区高校美術部員による展覧会。今年度は第４６回展を秋と冬で２回開催した。５～６階スロープの壁面も使った展示は回を重ねて整ってきている。全県高校美術展の期間外に行う小品中心の展示ということもあるが、イラストレーションを含めたデザイン部門の作品が多い。高校美術部員の興味関心が作品に表れている。展示作業に合わせて展覧会鑑賞、部員同士の交流がプログラムされており、普段セカンドスクール利用が少ない高校生にとってよい利用機会になった。

美術館のセカンドスクール的利用

◆概　況

	セカンドスクール的利用					総利用学校数	総利用人　数
	幼･保園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校		
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	14	7	0	0	22	929
6月	3	12	1	0	0	16	779
7月	0	7	6	0	0	13	681
8月	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	18	2	0	0	20	338
10月	0	7	1	0	1	9	817
11月	0	4	1	0	4	9	365
12月	0	0	1	0	0	1	24
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	2	0	0	0	2	40
3月	0	0	0	0	0	0	0
合計	4 園 (125人)	64校 (3020人)	19校 (587人)	0校 (0人)	5校 (241人)	92校･園 *のべ数	3,973人

総計			
	平成21年度	106校（4,441人）	幼･保　10園　375人
	平成20年度	62校（2,957人）	〃　5園　144人
	平成19年度	91校（3,739人）	〃　7園　287人
	平成18年度	104校（3,845人）	〃　7園　355人
	平成17年度	135校（5,095人）	〃　12園　638人

◆利用校

平成22年度セカンドスクール利用校一覧

仁井田小学校
岩見三内小学校
五城目小学校
追分小学校
岩谷小学校
大曲小学校
大川西根小学校
神宮寺小学校
土川小学校
大沢郷小学校
清水小学校
太田南小学校
太田北小学校
南楢岡小学校
高梨小学校
横堀小学校
角館小学校
中川小学校
白岩小学校
生保内小学校
神代小学校
西明寺小学校
桧木内小学校
六郷小学校
横手南小学校
旭小学校
増田小学校
黒川小学校
金沢小学校
浅舞小学校
吉田小学校
雄物川北小学校
横手市立南小学校
福地小学校
大森小学校
十文字第一小学校
植田小学校
山内小学校
湯沢東小学校
湯沢西小学校
山田小学校
岩崎小学校
高松小学校
稲庭小学校
院内小学校
小野小学校
皆瀬小学校
三輪小学校
羽後明成小学校
元西小学校
東成瀬小学校
鷹巣南中学校
土崎中学校
岩見三内中学校
仁賀保中学校
角館中学校
仙北中学校
生保内中学校
桧木内中学校
横手西中学校
金沢中学校
横手南中学校
高瀬中学校
増田中学校
平鹿中学校
羽後中学校
山田中学校
東成瀬中学校
沢内中学校
能代北高校
能代商業高校
能代西高校
角館南高校
山形県立酒田西高校
ごしょの保育園
上宮第一幼稚園
上宮第二幼稚園
十文字保育所
（出前美術館）
八峰町立塙川小学校

◆領　域

・図工科、美術科、生活科、社会科等の各教科、総合的な学習の時間および特別活動

◆内　容

・企画展・コレクション展の作品鑑賞(鑑賞用シート等の利用)
・野外彫刻の鑑賞・美術館「探検」
・土粘土作り、木で作る川原の石、ローラーで描く大きな絵、粘土による制作、企画展にちなんだ製作　等
・インターンシップ、ボランティア活動

◆出前美術館

学校に出向いて行う「出前美術館(出前セカンドスクール)」は、本年度で６回目となる。
絵画、彫刻、版画、工芸作品のほか、遊びながら造形に親しむことができる木製遊具も展示した。
八峰町立塙川小学校 10月５日　児童・保護者等 615人

◆部活動での活用

・中学校３校44人、高校６校65 人

収集事業
美術品収集

収集方針
①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品
③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

◆美術品等収集状況(平成22年度末まで)

種　別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄　贈	他施設から所管替	合　計
秋田蘭画	6	0	1	5	12
東洋画	0	0	1	1	2
日本画	225	31	165	166	587
洋画	58	148	165	70	441
版画	11	34	237	69	351
彫刻	126	12	25	5	168
工芸	29	1	7	1	38
書	13	7	231	2	253
デザイン	0	0	2	6	8
写真	3	0	2	0	5
素描･下絵･資料等	15	0	195	12	222
合計	486	233	1031	337	2087

◆2010(平成22)年度収集

種　別	県美術品取得基金	寄　贈	合　計
日本画	0	1	1
洋画	2	23	25
版画	0	144	144
彫刻	1	5	5
写真	1	1	2
素描･下絵･資料等	0	51	51
合計	4	225	229

①県美術品取得基金による収集

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	洋画	馬場　彬	作品Q	1961	キャンバス・油彩	130.5×162.0
2	洋画	馬場　彬	不確かなポートレート	1979	キャンバス・油彩	130.0×130.0
3	彫刻	野口裕史	天空伝説「風韻」	2004	銅	H60.0×W160.0×D76.0
4	写真	千葉禎介	写真一括(100点)	1940-60年代	ゼラチンシルバープリント	25.5×31.1ほか

②寄贈による収集

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	横山津恵	椅子	1950	紙本着色二曲一隻	149.0×170.0
2	洋画	佐々木宗一郎	鳥居峠	1973	キャンバス・油彩	31.8×41.0
3	洋画	針生鎮郎	ぼうずの影	1963	キャンバス・油彩	162.3×130.2
4	洋画	針生鎮郎	ひとつ（ラ）	1982	キャンバス・油彩	226.8×181.5
5	洋画	針生鎮郎	ひとつ（リ）	1982	キャンバス・油彩	226.5×181.5
6	洋画	針生鎮郎	ひとつ（ロ）	1982	キャンバス・油彩	227.0×182.0
7	洋画	馬場　彬	作品	1966	キャンバス・油彩	130.0×162.0

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
8	洋画	馬場　彬	存在のアンチ・モニュマン、又は廃墟風景	1977	キャンバス・油彩	130.0×130.0
9	洋画	田口雅己ほか	名画佃煮詰合 ほか9点	―	キャンバス・油彩ほか	15.2×19.2 ほか
10	洋画	山脇佐久子	樹	昭和60年代	キャンバス・油彩	F20号
11	水彩画	宮下勝行ほか	空華の塔 ほか6点	1999ほか	紙・水彩	43.2×31.3 ほか
12	版画	池田龍雄ほか	BRAHMAN第1章 梵天 ほか144点	1973ほか	シルクスクリーンほか	37.8×37.8 ほか
13	彫刻	渡辺俊蔵	佇	1971	木	H210
14	彫刻	渡辺俊蔵	変身	1972	木	H170
15	彫刻	嶋岡達三ほか	題不詳 ほか3点	―	陶器	13.0×13.0×1.0 ほか
16	写真	千葉禎三	写真一括(100点)ほか	1940-60年代	ゼラチンシルバープリント	25.5×31.1ほか
17	資料	奈良裕功	色紙・素描類・団扇	―	47点	―
18	資料	小西正太郎ほか	素描等資料	―	19点	―
19	資料	宮下勝行ほか	あせび(馬酔草) ほか19点	2001ほか	インクほか	20.5×14.0ほか
20	資料	馬場彬ほか	ポートレイト ほか30点	―	写真ほか	28.6×62.5ほか

図書資料分類冊数一覧　2011(平成 23)年 3 月 31 日現在

分　類		平成22年度新収図書	分類別合計
一般図書	美術総記	95	1,539
	日本美術	93	2,644
	西洋美術	3	673
	東洋、その他の美術	0	166
	秋田資料	9	572
関係諸学		46	841
所蔵品図録、研究報告、年報		412	3,390
展覧会図録		527	6,540
美術雑誌他		117	6,432
		1,302	22,797

調査・研究

河野元昭

講　　座　美術館講座「鎌倉時代の美術」、秋田県立近代美術館、2010年5月～2011年2月まで8回
講　　座　明快！Artゼミ「江戸絵画発見の旅～番外編～」、秋田県生涯学習センター、2010年6月～8月まで3回
講　　座　秋田ふるさとセミナー「世界最古の美術雑誌『國華』」、秋田県立図書館、2010年8月6日
講 演 会　東北地区高等学校総合学科教育研究大会「江戸の洋風画」、横手セントラルホテル、2010年10月15日
対　　談　「秋田200年の美術と秋田美短」樋田豊次郎学長、2010年10月30日
論　　考　「秋田の美術によせて6－原始美術(3)－」『秋田美術No.47』(紀要)、秋田県立近代美術館、2011年3月16日、pp2-10

太田和夫

講 演 会「秋田美術概説」秋田美術鑑賞会第22回定例総会・講演会、秋田市立千秋美術館、2010年5月14日
展示指導「秋田の近代に輝く美術家たち」秋田県立博物館主催、10月2日(土)～11月7日(日)、観覧者数 8,946人、美術館所蔵作品 35点
作品解説「秋田の近代に輝く美術家たち展」ギャラリートーク、秋田県立博物館、2009年10月2日
講　　座「ギャラリートーク　秋田の近代に輝く美術家たち」展付随講座　秋田県立博物館
「平福穂庵」　秋田県立博物館　博物館教室『秋田の美術講座』2010年8月29日
「寺崎廣業」　秋田県立博物館　博物館教室『秋田の美術講座』2010年9月26日
「平福百穂」　秋田県立博物館　博物館教室『秋田の美術講座』2010年10月17日
「福田豊四郎」秋田県立博物館　博物館教室『秋田の美術講座』2010年11月7日
資料作成「秋田県立近代美術館所蔵品図録　－補遺」『秋田美術№47』(紀要)、秋田県立近代美術館、2011年3月16日、pp35-57

沼田仁

作品解説「ギャラリートーク　コレクション展Ⅳ期 伊藤彌四夫」『秋田魁新報』、2011年2月3日

樫尾康子

作品解説「ギャラリートーク　太田大八とえほんの仲間たち展上」『秋田魁新報』、2010年4月22日
作品解説「ギャラリートーク　太田大八とえほんの仲間たち展下」『秋田魁新報』、2010年4月29日
作品解説「ギャラリートーク　高橋萬年展～絵の仕事～上」『秋田魁新報』、2010年11月18日
作品解説「ギャラリートーク　高橋萬年展～絵の仕事～下」『秋田魁新報』、2010年11月25日
作品解説「高橋萬年展～絵の仕事～」『河北新報』、2010年12月16日

山本丈志

講演・対談「直武と秋田蘭画」、神田明神塾第2回、法政大学教授田中優子氏と、神田明神(東京都)、2010年5月10日
実技講座 湯沢市民大学「楽々デッサンコース」、湯沢生涯学習センター(湯沢市)、2010年5月から10回
(5/26,6/16,7/21,9/15,10/20,11/17,12/15,1/19,2/16,3/9)
作品解説「ギャラリートーク　洋画のキラキラ展上」『秋田魁新報』、2010年6月17日
作品解説「ギャラリートーク　洋画のキラキラ展下」『秋田魁新報』、2010年6月25日
実技講座「水彩画教室」、平成22年度成人いきいきセミナー水彩画教室、羽後町立中央公民館(羽後町)、2010年7月28日
講　　座「近代日本画の巨匠たち」、秋田市川尻地区高齢者学級学習会、川尻コミュニティーセンター(秋田市)、2010年8月18日
講　　演「小田野直武と秋田蘭画」、平成22年度東北人権擁護委員連合会大会、横手セントラルホテル(横手市)、2010年8月18日
作品解説「ギャラリートーク　馬場彬とサトウ画廊の画家たち展上」『秋田魁新報』、2010年8月19日
作品解説「ギャラリートーク　馬場彬とサトウ画廊の画家たち展下」『秋田魁新報』、2010年8月26日
講　　座「近代日本画の巨匠たち」、秋田市茨島七丁目地区高齢者学級学習会、茨島七丁目町内会館(秋田市)、2010年8月23日
講　　座「近代日本画の巨匠たち」、秋田市中央高齢者大学学習会、秋田市文化会館(秋田市)、2010年9月8日

講　　座「近代日本画の巨匠たち」、由利本荘市文化会館(由利本荘市)、2010年9月16日
論　　文「秋田蘭画をめぐる、未着手の文化的背景」『国際日本学第8号』(研究成果報告書)、法政大学国際日本学研究所、2010年9月24日
講　　演「洋画家・小西正太郎の生涯」、秋田県立博物館(秋田市)、2010年10月24日
講　　座「近代日本画壇の縮図　地方という視点から」、小山市立車屋美術館(小山市)、2010年11月21日
講　　演「佐竹氏と秋田蘭画　秋田蘭画の光と影」、平成22年度美の国カレッジ「あきた学総合コース」、秋田県生涯学習センター(秋田市)、2010年11月27日
作品解説「ギャラリートーク　山脇佐久子展」『秋田魁新報』、2010年12月2日
論　　考「碧眼の秋田おばこ　福田豊四郎　目の系譜」『秋田美術No.47』(紀要)、秋田県立近代美術館、2011年3月16日、pp11-16・補記p34
資料作成「福田豊四郎のデッサン力展・出展作品目録」『秋田美術No.47』(紀要)、秋田県立近代美術館、2010年3月16日、pp17-33

小笠原宏

作品解説「ギャラリートーク現代彫刻コレクションから」『秋田魁新報』、2010年9月9日
作品解説「ギャラリートーク雪と遊ぶ　上」『秋田魁新報』、2011年2月10日
作品解説「ギャラリートーク雪と遊ぶ　下」『秋田魁新報』、2011年2月17日

木村雅洋

作品解説「ギャラリートーク　県立近代美術館新収蔵品展から」『秋田魁新報』、2010年4月1日
作品解説「ギャラリートーク　岩合光昭写真展『ねこ』上」『秋田魁新報』、2010年8月5日
作品解説「ギャラリートーク　岩合光昭写真展『ねこ』下」『秋田魁新報』、2010年8月12日
資料作成「レオナール・フジタがやってきた」展 作品解説　2010年10月23日

小川恵美子

資料作成「2010年県内美術展開催一覧(1～12月)」『秋田美術No.47』(紀要)、秋田県立近代美術館、2011年3月16日、pp58-64
資料作成「展覧会記事掲載記録」『秋田県立近代美術館年報2010』秋田県立近代美術館、2011年3月

美術品の貸し出し

No.	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名・会期ほか
1	大井錦亭	「自詠ふるさと」	県青少年交流センター	H21,12/1 ～ 11/30	館内展示
2	伊藤彌太	「北国の街(その２)」	県立図書館	3/1 ～ 11,2/28	館内展示
3	〃	「風景Ⅲ」			
4	平福百穂	「神語」	愛知県美術館	3/23 ～ 6/4	「小川芋銭と珊瑚会の画家たち」展　4/9 ～ 5/23
5	〃	「法然上人」			
6	伊藤博次	「うみとすなと」	国際教養大学	3/23 ～ 8/31	学内展示
7	〃	「折れた葦･･･Ⅰ」			
8 ～ 42	藤田嗣治	「なまず」他計 34 点	(財)平野政吉美術館	3/23 ～ 9/22	藤田嗣治作品展
43	伊藤弥太	「田園の秋」	秋田県知事公室秘書課	4/1 ～ H23.3/31	副知事室への展示
44	〃	「北浦風景」			
45 ～ 121	小田野直武	「不忍池図」他計 77 点	福島県立美術館	4/8 ～ 5/31	「美のふるさと －秋田県立近代美術館名品展」 4/13 ～ 5/16
122 ～ 146	三村治男	「釣船」他計 24 点	リアス・アーク美術館	4/11 ～ 6/5	三村治男木版画展 4/17 ～ 5/30
147	宮腰喜久治	「亀ヶ岡」	秋田県公共建築物活用室	4/25 ～ 10/24	本庁舎２階渡り廊下装飾
148 ～ 182	松井如流	「臨西狭頌」他計 32 点硯　２点	財団法人毎日書道会	6/1 ～ 8/13	生誕 110 年記念 悠久の書 松井如流展　7/7 ～ 8/1
183	福田豊四郎	「濤」	京都国立近代美術館 東京国立近代美術館 広島県立美術館	8/18 ～ H23.4/8	「日本画」の前衛 1938-1949 展 9/3 ～ H23.3/27
184	小泉淳作	「春を待つ鳥海山」	日本経済新聞社	8/20 ～ H23.2/22	小泉淳作展　9/8 ～ H23.2/14
185	松井如流	「奥」	国際教養大学	8/31 ～ H23.2/28	学内展示
186	〃	「達」			
187	福田豊四郎	「樹氷」	札幌芸術の森美術館	9/3 ～ 10/28	「北方神獣」展　9/7 ～ 10/24
188	〃	「流れと鹿」			
189	堀文子	「廃墟」	平塚市美術館	9/21 ～ 12/10	堀文子展　10/9 ～ 11/23
190	〃	「八丈島風景」			
191 ～ 226	平福穂庵	「乳虎」他 35 点	秋田県立博物館	9/27 ～ 11/10	「秋田の近代に輝く美術家たち」展　10/2 ～ 11/7
227 ～ 262	小西正太郎	パリの写真他計 35 点	秋田県立博物館	9/27 ～ 11/10	「洋画家･小西正太郎の生涯」展 10/2 ～ 11/7
263 ～ 294	南利夫	パネル写真計 31 点	秋田県立農業科学館	10/25 ～ 11/25	南利夫写真展　11/5 ～ 11/21
295	紺野五郎	「見送り人席」	秋田県公共建築物活用室	10/27 ～ H23.4/26	本庁舎２階渡り廊下装飾
296 ～ 318	小田野直武	「岩に牡丹図」他計 22 点	小山市立車屋美術館	11/9 ～ H23.1/13	「日本画の美と粋 秋田県立近代美術館所蔵品展」11/13 ～ H23.1/10
319 ～ 358	藤田嗣治	「藤田一家」他計 38 点ガンダーラ仏像	(財)平野政吉美術館	11/16 ～ H23.4/15	藤田嗣治作品展

刊行物

◆ＡＲＫ(アーク、秋田県立近代美術館ニュース)

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ＡＲＫ」を年4回発行している。「ＡＲＫ」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変し、発行を年２回とした。

No.60　2010年9月30日発行　A3二つ折り　4頁

展覧会リポート:「太田大八とえほんの仲間たち展」、「洋画のキラキラ 福島県立美術館名品展」

「岩合光昭写真展『ねこ』」

トピックス:「馬場彬とサトウ画廊の画家たち」、「レオナール・フジタがやってきた 藤田嗣治展」、

セカンドスクール、平成22年度上半期リポート、インフォメーション

No.61　2011年3月31日発行　A3二つ折り　4頁

展覧会リポート:「こころ揺さぶるモノづくり展」、「高橋萬年展」

トピックス:「果てしなき闇 山脇佐久子展」、美術教室報告「雪と遊ぶ展 ワークショップ」、「彫刻教室」

セカンドスクール、平成22年度下半期リポート、インフォメーション

◆秋田美術　第47号　2010年3月16日発行　A4　64頁

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆展覧会図録・パンフレット

平成23年度行事案内リーフレット

2011年3月発行　A4　2頁

入館状況

平成 22 年度　月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数（人）	3185	8484	4778	6937	17425	10488	9796	8745	4345	3836	3289	1214	82522

利用者数一覧表

事業別 / 区分			入館者	特別企画展入場者				企画展入場者					常設展のみ
				太田大八とえほんの仲間たち展	洋画のキラキラ　福島県立美術館名品展	岩合光昭写真展「ねこ」	計	Touch It! 手でみる彫刻展 ※2/20～	秋田公立美術工芸短期大学の美術・工芸・デザイン展	高橋萬年展 絵の仕事	雪と遊ぶ ～冬を楽しむ美術展～ ※～4/17	計	計
開催期間			4/1(木)～3/31(木)	4/24(土)～6/20(日)	6/26(土)～8/1(日)	8/7(土)～10/11(月)		4/1(水)～4/18(日)	10/16(土)～11/14(日)	11/20(土)～1/30(日)	2/5(土)～3/31(木)		
日数（日）＊			345	58	37	66	161	18	30	59	48	155	29
利用者数（人）			82,522	12,648	6,808	28,769	48,225	2,334	8,198	5,385	3,894	19,811	2,521
一日平均（人）			239	218	184	436	300	130	273	91	81	128	87
有料	個人	一般		1,548	1,399	7,874	10,821	0	0	0	0	0	0
		シルバー		63	193	236	492	0	0	0	0	0	0
		身障一般		32	50	181	263	0	0	0	0	0	0
	団体	一般		251	2	80	333	0	0	0	0	0	0
	合　計			1,894	1,644	8,371	11,909	0	0	0	0	0	0

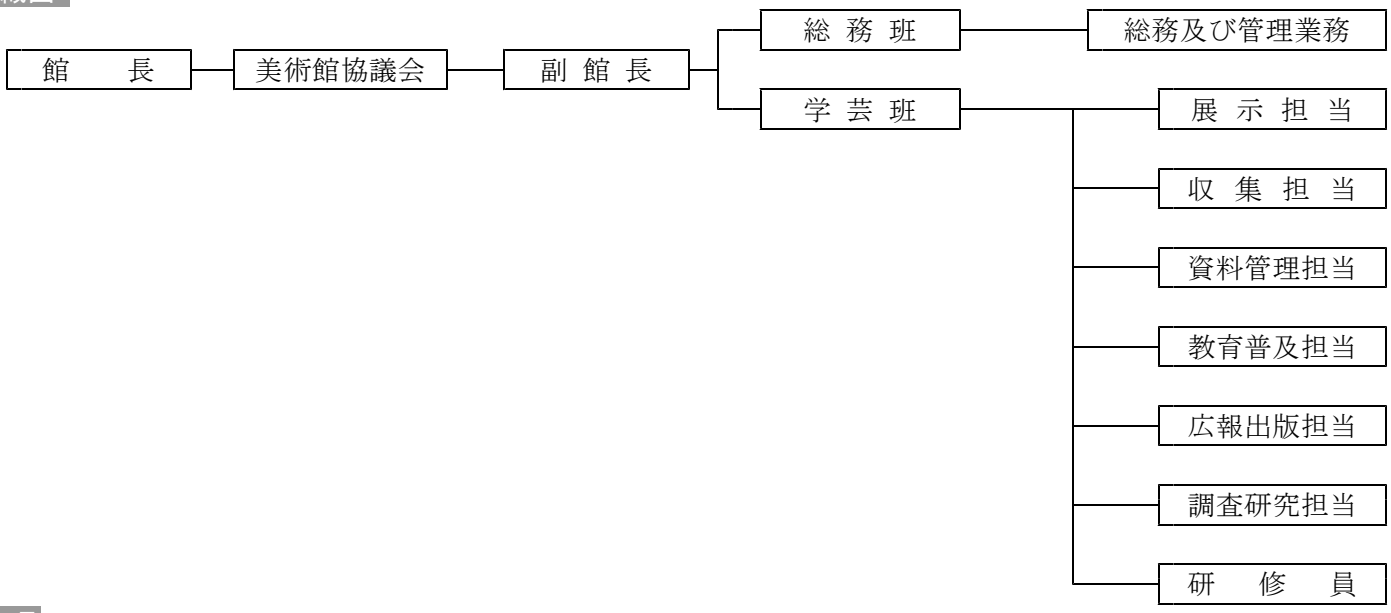
※「Touch It ！ 手でみる彫刻展」は、平成22年２月20日～４月18日まで開催。
「雪と遊ぶ ～冬を楽しむ美術展～」は、平成23年２月５日～４月17日まで開催。

＊平成22年12月29日～31日、平成23年１月11日～20日は年末及び館内メンテナンスのため休館。
平成23年３月12日、13日、21日～25日は、３月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)のため休館。

この他に、出前美術館の観覧者615人、三館連携展(県立図書館にて)の観覧者8,659人、レオナール・フジタ能代展の観覧者2,691人が加わる。

組　織

組織図



職　員

館長	河野元昭	事務補助職員	佐藤陽子
副館長	太田和夫	学芸補助職員	藤原葵
副主幹（兼）班長	松橋浩治	解説員	松下公子
主査	田原隆雄		高橋裕子
主任	柴田優		加藤七生
主幹（兼）班長	三浦直		児玉友美
主任学芸主事	沼田仁		川津扶由美
学芸主事	樫尾康子		佐藤晴香
	山本丈志		柿崎美和子
	小笠原宏		鈴木萩子
	木村雅洋		新田南海子
技能主任	菊地信夫		芦沢千鶴
研修員	小川恵美子		大越秋穂

美術館協議会委員

会長	根田穂美子	子どものアトリエ絵画教室主宰
副会長	森田慶子	自由美術協会会員
	大槻悟	ＮＨＫ秋田放送局長
	工藤敏夫	公募
	古関俊勝	横手市立横手南中学校校長
	齊藤千秋	(株)秋田ふるさと村総務課長
	高橋功	横手市教育委員会生涯学習課課長
	三橋由美子	通訳案内業
	村上昌人	(株)秋田魁新報社文化部長
	森田克彦	自営業

建築・設備概要

建築概要

建　設　地／秋田県横手市赤坂富ヶ沢 62-46
敷 地 面 積／ 164,936.81 ㎡(秋田ふるさと村)
建 築 面 積／ 2,947.32 ㎡
延 床 面 積／ 11,166.50 ㎡
構　　造／鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
　　地下 1 階　地上 7 階　ＰＨ 1 階
設　　計／株式会社　山下設計東北支社
監　　理／秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施　工

建 築 工 事／大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空　　調／ダイダン・山二建設工事共同企業体
電　　気／東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生／岡田水道施設工事（株）
受　変　電／羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱　　電／千代田電気工業(株)
昇　降　機／三菱電機(株)

設備概要

●電気設備

受変電設備／受電電圧 3φ　3W　6.6KV　50Hz
　　設備容量 1,500KW
非常用発電設備／ディーゼル発電器（Ａ重油）300KVA200V
蓄電池設備／非常照明・電源設備制御兼用　250Ah　×　1　台
監 視 設 備／中央監視装置：機能分散型ＤＤＣ方式による集中監視制御
照 明 設 備／蛍光管主体
　　展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅制御方式)　外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・ＴＶ共聴研修室ＡＶ装置・ハイビジョンギャラリー 4 系統(110 インチ背面投射型 1 台・60 インチ背面投射型 3 台)ハイビジョンデータベースシステム 1 系統(32 インチＣＲＴ 1 台)
防 犯 設 備／防犯センサー・ＩＴＶ装置
防 災 設 備／自動火災装置・防排煙設備

●空調設備

熱 源 設 備／吸収式冷温水発生機 2000RT × 2 台　ＬＰＧ
　　焚真空式温水ボイラー 80,000Kcal/H × 1 台
空 調 設 備／ユニット型空調機(還風機組込型)× 4 台
　　ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)× 5 台
　　ファンコイルユニット天井カセット型× 105 台
　　水冷式パッケージ型空調機× 6 台
　　空冷式ヒートポンプ型パッケージ× 3 台
換 気 設 備／第 1 種及び第 3 種換気方式
排 煙 設 備／機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／機能分散型
薫 蒸 設 備／常圧手動式ユニット型 20 ㎡

●給排水衛生設備

給 水 設 備／上水引込口径 75 ㎜　重力給水方式
　　受水槽 24 ㎥　高置水槽 6 ㎥
給 湯 設 備／局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排 水 設 備／建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式
　　建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化槽へ導入
ガ ス 設 備／ふるさと村施設全体の集中ＬＰＧ装置より供給
　　主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消 火 設 備／炭酸ガス消火・屋内消火栓

●エレベーター設備

乗用エレベーター	1150 kg	105 m/分	2 台
乗用エレベーター	1150 kg	90 m/分	1 台
荷物用エレベーター	3000 kg	45 m/分	1 台
小荷物用エレベーター	300 kg	30 m/分	1 台

●エスカレーター

展望エスカレーター	9000 人/時	30 m/分	1 分

主な設備

5 階展示室(4 室)	983.10 ㎡	収蔵庫(5 室)	852.9 ㎡
(1)	260.28 ㎡	会議室	69.4 ㎡
(2)	293.76 ㎡	実習室・準備室	135.0 ㎡
(3)	237.13 ㎡	図書資料室	160.5 ㎡
(4)	191.93 ㎡	調査研究室	45.5 ㎡
6 階展示室(3 室)	786.90 ㎡	ハイビジョンギャラリー	241.9 ㎡
(1)	255.96 ㎡	研修室	226.7 ㎡
(2)	293.76 ㎡	キッズ・ルーム	128.9 ㎡
(3)	237.13 ㎡		

関 係 法 規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第１章　総　則
（設置）
第１条
　秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。
（業務）
第２条
　ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施　　設	業　　務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第２章　近代美術館
（近代美術館）
第４条
　秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。
（職員）
第５条
　近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）
第６条
　近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第２項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
２　協議会は、委員10人以内で組織する。
３　委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（入場料等の徴収）
第７条
　近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第１に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。
２　前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第１に定める金額の範囲内において知事が別に定める。
３　入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場にあたっては、これを発行するときに徴収する。
（入場料等の減免）
第８条
　知事は、特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。
（入場料等の不還付）
第９条
　既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。
（規則への委任）
第10条
　この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
附則
　この条例は、平成22年６月22日から施行する。

別表第１
特別展示室の入場料（第７条関係）

区　　分	金額（一人につき）
普通料金	800円。ただし、知事が別に定める展示にあっては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	720円。ただし、知事が別に定める展示にあっては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間１年）	1,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）
（趣旨）
第１条
　この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。
第12条
　条例第６条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に

提出しなければならない。

第８章の２　近代美術館

（開館時間）

第37条の２

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前９時30分から午後５時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

第37条の３

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

１　年始（１月１日及び１月２日）

２　年末（12月29日から12月31日まで）

（資料の館外貸出し等）

第37条の４

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

第37条の5

第３条第３項及び第４項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第６条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第７条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例(平成５年秋田県条例第45号)第８条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

第37条の６

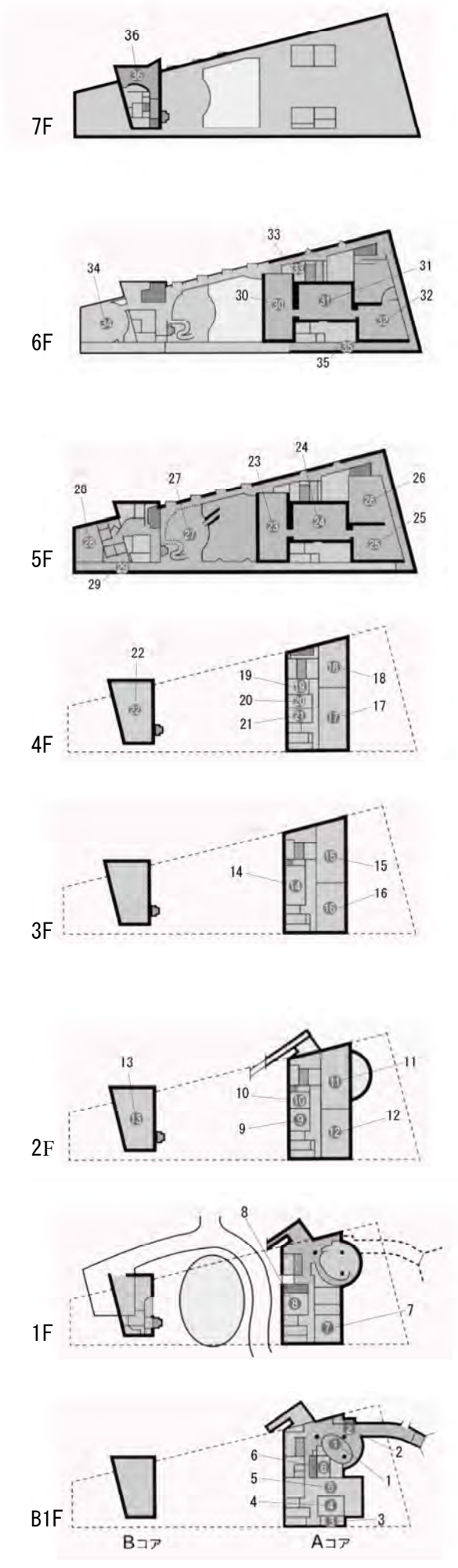
この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

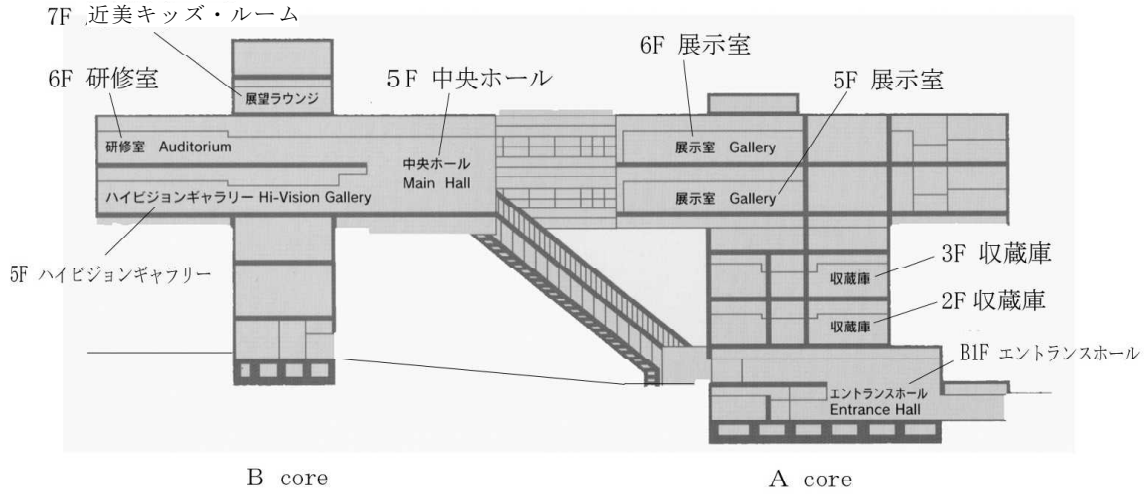
附則

この規則は、平成21年４月１日から施行する。

館内図

7F	36	近美キッズ・ルーム	Kid's Room
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどりーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	21	調査・研究室	Study Room
	20	館長室	Director's Room
	19	応接室	Lounge
	18	図書・資料室	Library
	17	事務室	Museum Office
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	薫蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall





1　エントランスホール
彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。

2　エスカレーター　外の景色をながめながら、1 階から 5 階へと皆様をお連れします。

3　中央ホール　自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。

4　ハイビジョンギャラリー　美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。

5　展示室　5 階 4 部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また 6 階 3 部屋のコレクション展示室では、年 4 ～ 6 回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。

6　実習室　専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。

7　研修室　充実した AV 機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。

8　収蔵庫　5 室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。

9　野外展示スペース　自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

利用案内

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
（入館は午後4時30分まで）

◆無料公開日

・こどもの日(5/5)　・文化の日(11/3)
※県の記念日(8/29)　※敬老の日(9/20)
※印は2010年度のみ無料公開。

◆休館日

2010年度：12月29日～31日、2011年1月11日～20日
2011年度：12月29日～31日、2012年1月10日～19日
（年末及びメンテナンス休館）

◆料　金

	一般	学生	小・中学生
観　覧　料	無料	無料	無料
特別企画展開催時	800円	無料	無料

※団体(20名以上)は1割引

教育課程に基づく学習活動として利用する児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆Museum hours

9:30a.m.～ 5:00p.m.(No entrance after 4:30p.m.)

◆Admission Free

Children's Day
Memorial Day of Akita
Respect for the Aged Day
Culture Day

◆Closed

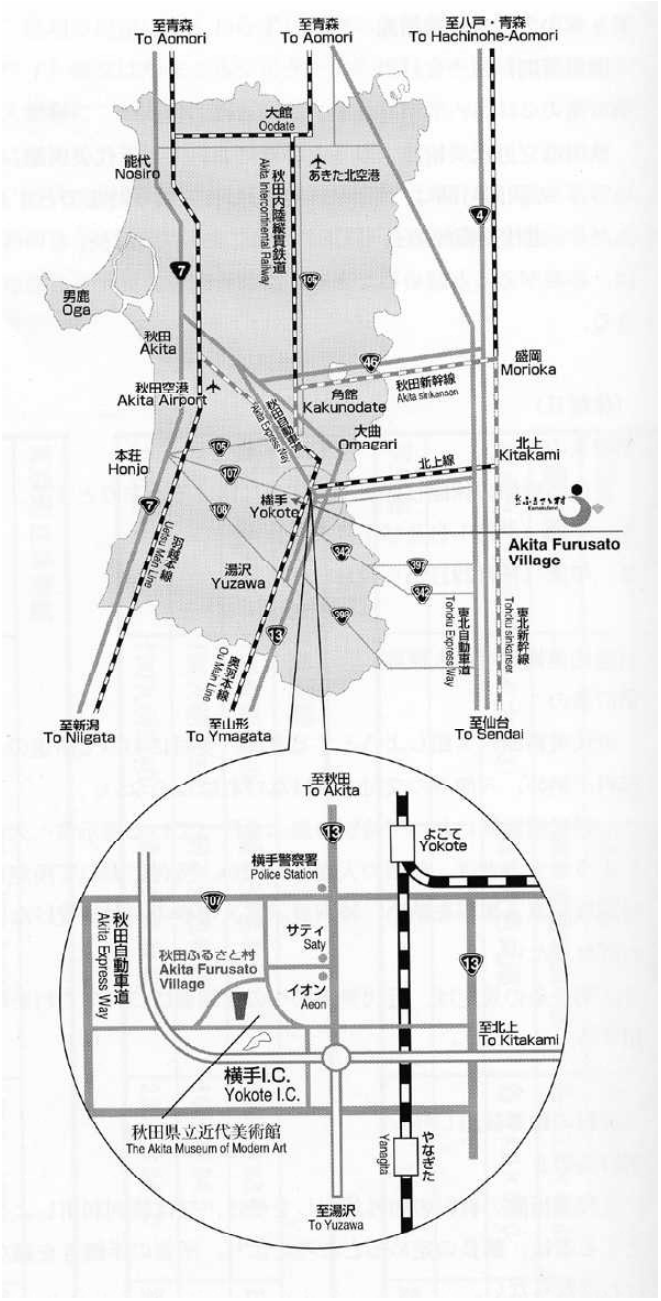
General Maintenance & Year-end Holidays
・Dec.29-31,Jan.11-20/Fiscal 2010
・Dec.29-31,Jan.10-19/Fiscal 2011

◆Admission Fee

	Adult	Student	Child
Permanent Exhibition	￥0	￥0	￥0
Special Exhibition	￥800	￥0	￥0

※ Parties of 20 or more persons are offered a discount of 10 % off the normal admission price.

交通案内　Transportation



1. バス利用の場合
   JR 横手駅乗車　秋田ふるさと村下車
2. タクシー利用の場合
   JR 横手駅から 15 分

1. Get off the train at JR Yokote Station, then take the bus to "Akita-Furusato Village"
2. 15minutes by taxi from Yokote Station.

秋田県立近代美術館年報　2011 年 3 月製作
編集・発行　秋田県立近代美術館
〒 013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46
TEL.0182-33-8855　FAX.0182-33-8858
URL　http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html
E-mail:akitamma ＠ rnac.ne.jp